世九日教』河南の上然にある。

對日戰準備通電

京三十日發』蔣介君氏の

(刊日)

日十三

十月中旬

和

開京政府自ら國交 満蒙問題は合理的に解決したい 化する態度は遺憾

幣原外相、齊世英氏を諄々説

支閣をは、 交換と同四時央離式とた | 高真は | の 本和路線決も叩診であらうさ然

ツト刷りのこ

田和六年九月十八日変野素天神派において中國軍隊の一部が南流 で満ちた皇軍活動の實況を新聞紙半頁大三十二頁の で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻々到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻を到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻を到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻を到るニュースを で新聞紙上に、號外に刻を到るニュースを

一頁の極めて美麗なオフセ が南端洲鐵道の総路ル映感し、刺へり が、更に本社はこの涙ぐまが スを滿載して及ばずなが スを滿載して及ばずなが のではずなが のではずなが のではずなが のではずなが

厚東中將

榮轉內定

第十一師團長に

電東京特體州日襲』府縣職戦常選 者二十九日午後八時現在左の姫も 民政六七三、中立其他五五、 計一二五七 民政六七三、中立其他五五、 計一二五七 民政六七三、中立其他五五、 計一二五七

鑑波理一郎氏は雑我を提出し粉聚一れまでは從來通りの事務をさると《東京三十日發》早稲田大林幹事一つて存職を決定する意識らしくて

B 449

美麗なオフセ

ット印刷

府縣議選舉の結果

早大難波氏辭任

州二頁の

畑呈す

因に新規の愛讀者に

洲

H

購讀者に同樣贈呈いたし

田登帰還すると
を観ふ真恋を誤解したので三十 府は日本に野ら今な日表面は常地外人間の消息によれば南 蔣氏更に 使節派遣

府は日本に書 一般では配しつ、あり群代石氏は二 がを外配しつ、あり群代石氏は二 一十八日和かに某使節を東京に送つ

混亂

將介石氏下野と

廣東政府の取消

粤寗安協の主要條件

東支露幹部の

日 一ト總領事から日本總領事に抗議が建立たさ、尚事慶野餐館時ソウエ報じたさ、尚事慶野餐館時ソウエ

首相ご三閣僚

英勞働黨除名

「きってすれ、たとかに恐怖感でせれ……恐怖感にしたのは誰でせいか、まあ天れは世ががない

を解除したもので驟を占領する意

思なきこと、日本軍は北禍に出兵

する無配なきこと、今回の事気に

事變報告內容

こる山戦の日火をゆらるいに発った。 とれないのは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、大ないのでは、 萬選才氏獨立を宣言 関連備の必要ありさの通電を發し

が出席各代表個人の意向よりの内容は目下のは明確に知り

の下野さ陰東政府取消」の駆闘るに妥協の共要條他は「蔣介石

おきな注視してるるが、事態態を一ちまで変響の態度を止めて情報に成った。

に まればルディ局長の電報は日本 を開催、その結果な哈所郷由モス クワ政府に打電した、仄聞する所 のでである。 のでは、こればルディ局長の電報は日本

突状を質した程度のものであると 死傷者を出したさの噂に基いて其

真を正式除名した

の限へ飛んで行つた。

何んて交句の多い野獣人なんだ武村は横を向いて默つてゐた。

廉

貴院議員團

今夜八時大連に

日全国執行委員會を開きマクドナ

城子においてソウエ

を提出したと傳へられたがおけて

へられる同會議の討議

張學良氏の 以前が針た決定するため臨時にとことが単良氏の入京を要望 入京要求 蔣介石氏打電

、山西谷野銀二十八名」は一致歌組して外郷を防ぎ野山九日豊」観代様、徐が一は二十八日附連名を以て全國各

東北、山西將領連名で

東省特別區心

自治制施行 三十日愛」 谷財政整理案は

うらる丸の船客

定。 で、小林五郎、永谷新一 で、小林五郎、永谷新一 で、小林五郎、永谷新一

◆安藤六郎氏(外務省場託)三十 日午前十時半入港の天湖丸にて 水連

百閣僚に內示

米領事館移轉 大連駐剳 米領事館では十月一日より奥町十 米頃事館では十月一日より奥町十 米可番地に新築した新領事館

白萬圓

三十分登列車で南行大連へ随つた三十分登列車で南行大連へ随つた

最し多く三千二百萬圓、嶽軍省が右一億二千二百萬圓の内陸軍省が

職立さ共にハルビンの接別行政區 自治線委員三千名を低齢した

委員三十名を任命

解答保留

有所管の分に就き試明脱髪の承認 (行政及び財政整理製を振示して同行政及び財政整理製を振示して同 滿鐵、 院の組織 泉拓、移民等の事務は 拓務課にて取扱ふ

あるが著男際の撃敗は衛駆艇し萬 始すること、なつた と日来の職にさみに加はれる寒さ つくあり、日本小學校は三十日よ に支那郷の元献は数らか較いた窓 り八ケ所に職数場を殴け機製を際に機製を開いる。

日本

の聲明に信賴

日支直接交渉を希望

|養||本日の最終職器の會において理事會過長レルー氏は滿州事代

聯盟理事會議長報告

等の事務を扱ふ) 等の事務を扱ふ) 等の事務を扱ふ)

一貴族院議員團の視察

事變經過を報告 外陸兩相が樞府側に

職型の影響役が内田總裁で、そのお弟子の幣原、光潔の二人が職で男か上げた、日本の外交だつて強いこともある。

品質優秀 價低廉なる

四七六六

を表言が、裏日から日本を訪ふた、事をない。裏日、密使……。 الم

明たがつてゐる、こ自分の腹をへ

かう云つて作つた笑臓か! かう云つて作つた笑臓か! ないかって吹ばうさは云やアないか。 特に燃えた残しい眼情で、ちつさ それからダットは小夜子へはになってはなしく顕き、期 何んです。こんな部屋へ!」 「ダットさん これです、この娘 なのです 武村は古打ちなし顔をしかめ、 したんだ、 実施に果たしてあれがあって、 延 変が振してある人物でしたら、こ 変の振さんは秘密にさり、 又吹爾略 の概さんは秘密にさり、 又吹爾略 の概さんは秘密にさり、 又吹爾略 それからダットは小夜子へ云つ そんなやうに思つてゐるらしか とかと彼いはダットさいふ常年 宮殿に住居していた

> 内科專門 櫻井內科醫院

特許いて式テルや型鉄的シクリト煙突

撫順東六條通

出張所

鞍山南一條町



東洋コンプレツソルが大連市岩俠町一九六番地

東洋コンプレツソル株式會社鐵筋混凝土工の確實なる施工請負者は 特許マルチペデスタル式混凝土基礎代工のフェバー式薬が混凝土を簡煌突工事は避防混凝土工に繋が混凝土事は強筋切断機販費 東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の内二丁目十四番地東京丸の大連市が開発している。

11他 支那吳服類 婦人子供服 生 地 婦人子供服 生 地 的速浪達大 世九九三七話電 **枝公恭德** ◆地當二十七節速浪 店 屋は、六艦敷ぐらるのものであつ 機性の女CID 伊藤順三 史

をういふ粗末な部屋に使合った。 一定領を失って、少と解せて、総 一定領を失って、少と解せて、総 かーテンなごには心みが出來てる ないか」 「質」の娘さんな声徐しました って無ければこんなに怯える智は 「どういたしまして、そんな馬鹿

「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「「」」」」」」「「では野者に見せましたか」 験……恐怖症のやうなものですか 病氣を云つたつて神經衰 d. ...

擦り込めば足る を恢復し、打撲傷 突き指を快癒す スポーツマン常備のマスコット

の同答疑訟の誠市鼠派遣の提書さ、批等につき詳細報告誤解を求めた所能、明理書會の動で決議さ帝国政府 我對流蒙方策越に日支外突々 数方では、歌歌神事會經過日安原國に黙 悠远流蒙における獨立戦略立即動 数表の理由、歌監理事會の今後の 歌で外突々 数する観察さ来國國務是館よりの一个を 1000年後の 1000年後の 1000年後の 1000年後の 1000年後の 1000年後の 1000年後の 1000年度 10 政友會逐に慘敗 民政黨との差は万六十名

贈呈

竹葉界に入るさ

清鐵の経育事務所は經验部級のため明年三月か以て際止に決定してつたので経育事務所を從來通り存むで、一般重要事業さな、 一般重要事業さな
「清鐵の経育事務所を從來通り存むしてはさの意見が接頭してゐる
「清鐵の経育事務所を從來通り存む」

紐育事務所

御希望の向は御來店現物御覧を種毛皮多數到着卸賣に限り廉價

ソウエト聯邦通商代表部

幸校

得る限り住居食料を提供して保護ってはこれ等静臓者に難して出来

か開原、銀織、率天等には日一日 の譲奪を受け且つ地方民から遊話。事の譲奪を受け且つ地方民から遊話。事の記述、銀織、率天等には日一日 郷

續々と避難

時局一段落や待ち歸農

滿鐵でその間保護

農作物がそのまゝにしてゐたので
むるが、彼等は目下收穫期にある 事態一階語つき次第時農するつも

佐藤社員の

死體捜査

何等手懸なし

鄭家屯附近で

『東京三十日数』 島后陛下は

負傷者に傳達

繃帶拜受

亞砒酸を

南陸相が

柳常御下賜を仰出されたので

『大日活』の競賣

氏側落札

まだ繋爭は續く

から私はそう皆さんこ公言してから私はていて、会初ではな、マな真似はこませんが、最初ではないない。

参内河井銀后宮大夫から御 陸相は三十川午後二時宮中

この御下賜記は真田副

現地に向ひ附近

絹笠中隊が衝突激戦

を受け金品を掠奪される始末で危險極りないと■奉大電話■より現大洋六萬圓を强奪逃走した、同鐵道は毎日の如く匪賊の襲撃間にさしかゝつた際突然土匪化した武裝支那兵約五十名襲撃し乘客廿九日午前六時北寧線皇姑屯驛を發した第百四列車が日旗堡饒陽河 鄭通線にも襲來 三十日朝飯家屯より

大の傷害を臭へて逃走せるが 職嶺縣下の鮮農虐殺は 部落で六十餘名 敗兵三千餘荒し廻る

ものが該列車な襲撃と乗客の荷物多数な掠奪と乗

南縣與京方面へ移動 拘禁鮮人の

長春伸近に於ける支那官憲の鮮鬼で長春味がの経験で長春味が変易に何等無いではその極度に悪と常時に何等 出でついあるも如何なる理由で野恵兵分隊だにも同一の願ひを の著後策に困つて帰る『長春 救出方嘆願

の取扱いた停止の決議をなら邦人 警備擴張を要求 香港の日本人理事

する様、政府監局に職職し在領民 維持に努力する事さなつた、なほは香港九龍の軍除警備區域な擴張 する者のが飽くまで転止まり現狀然まらざるため本日々本人理事會 大間題なれば自養館に飛場な希望 低音港二十九日餐』香港の危險依 の飛揚は邦人水年の地盤を失ふ重

**神
北境
内廣場
において
参謀
本部
主催
の下
に
廿七
日
午前
九** 中村覧太郎小佐井杉延太郎曹長兩氏の陸軍郡は九段晴國

機器されたことは鬱郁の捜査によ消離社員佐藤忠氏の支那販競兵に

時から莊殿に行はれたが鷄真は男士の鑑を明ふ莊殿な陸軍郡と参列の津族、枯から井杉未亡人、次男保育、長男延壽者、中村小佐の殿父、中村未亡人、遺兄

電いばれてあるのに鑑み、大連器 に呼ばれてあるのに鑑み、大連器 に呼ばれてあるのに鑑み、大連器 る、今回い

馴薬をの

旅順工大生の自殺 只所持の大學

は国人の所持 織いて本當に

一潮(车前 零時二十五分 一潮(车前 零時二十五分

ふの小洋相域(EE年)

絞パレス無地羽織裏

大市七尺

錢

色モズ八掛用

中巾九尺 品

錢

で認めてあり、

強湖の

學生糾察隊 日貨强奪

を

第三井物産が鉄二萬俵を輸出すべ 第三井物産が鉄二萬俵を輸出すべ 第三井物産が鉄二萬俵を輸出すべ 一後も此の種の事件額出す は牧園運

権利の放棄

排日に傾いてる

生は歸國後

上海日本商議上海日本商議 待遇法の改善が必要

馬車人力車の

賃金値下げ

近く大連署から命

外科內分泌病 商工校修業式

八院 随時 医學博士城泛靈治 一大連告野町七一 一大連告野町七一 たで施行、今脚突瞰着は十七名で 日から五日間旋艇開東顧酬者館に 日から五日間旋艇開東顧酬者館に

自然の秋に魁けて、奥床しい京染の味

各地温度 天氣除就

壱日 五日

モス友仙 モス友仙」といい品處外八十五 新 柄半中一大八十五

平絹友仙新柄展觀 特價品等市一大一线 錢 城町

長江筋の 各地とも刻々惡化 排日氣勢

百名さ衝突し機関の結果午後五時 出した機様である『鄭家电電話』において支那院競兵らときもの約 ないが支那兵は可なりの死傷者をさ城に郷家屯西南約二千米の地監 りわが軍は戦傷者を出せるに過ぎされた郷家・地 に勝着した、この衝突に依 率天に向い資係者一同に傳達官が牽持して明一日東京出發

疑問が

中野常助氏談

社へ宛てたの処き続齢電報があつせ八日出餐とた常年覗嘘向総統・一十日本

と法に概れざる様自軍すべと主教 影響も民衆に黙し不穏の行動をな 影響と表に表しいなの行動をな 私の公言

宜昌、

邦人婦女子引揚

蘇州杭州も益々危險

我陸戰隊出動

右につき長次郎吉氏

長次郎吉氏談 田尻の女将に見 開決出來る問題 大出來る問題 は語る

裏書した

会社の総大なる御後提感謝に場べず、一行元氣旺盛、問題の檢討を負突を起つて所感を逃べ 各地に歸るものに我等の主張を 等へられるやう乞ひ多大の感動 等へられるやう乞ひ多大の感動 事業であり、九州、中國班は門 司上陸で同時に直ちに活動を現べ 電車内で掏摸 九日午後二時四十分ごろ水源地

自動車

金

値下

日

斷行

のか發見直に本警に引数目下取割。日食理器和離居住の裏夫郷鴻敷(こ)

1 割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは二割方値下 げを断行致すことに相成りました、多年の慣習を突然改むるは

月一日以降無効に御座候間併而御諒承願上候

大連自動車營業組合

11

等の缺損及集金諸蕪費を省くため 現金制度 どなし愈々十月一日より終て種々研究協議の結果從來經營上の大暗礁たべ後拂制度に於て生ずる回收不能兼て新聞紙上等にて報也られました通り自動車料金値下げに就ては同業者に

の入學申込は十月五日総パである。簡新入學生の人學中込は十月五日総パであると、簡新入學生の人學中込は十月五日総パである

三十一年秋の創作、新柄を揃へまして

秋のモスリン

ノ

着尺

陳

列

中等教員檢定

英艦二隻入港

三十日午前十一時半英軍艦カンバ

平絹友仙

はり一○番は明十月一日より一〇一番は明十月一 史可致候 八連中央電話局

* h **解松尾虾仙庵堂** そく治療

池田小兒科門醫院

品質優良 價格低亷

配達 又久富市帯道奥店



10 一四一二話電 一四一二話電 「用」「ED 井子」

り徒歩にて来連したが若くてたま 中にて麒麟亞・歌座の途甲車 神にて戦騒亞・歌座の途甲車 嚥下する 身元不詳の男

文簿活房 银版 早 版

なな行のがに、その総片を戻し

行ったのか」

世でと演藝

日活映書館

發聲裝置

に禁光あれジーグフェルド座の情報

滋

賀

洋

文治

若壁が假がわかりませ

「な、新左衛門殿、貴がのお目で

はてな、透かして見るさ、健か一 終ありさうな、こいつあ、放つて おかれないさ思ったから、呼びか けまもた」

からさつて、並べて新左衛門の前率行は二枚を、そのま、机の上にご見えますかな」

した。いや賞はこれこれ。 触兵衛の身内の概五郎さんなんです。今頃ごうのにないです。今頃ごうのではこれこれ。 といいがにいいないです。今頃ごう

機、よく似てゐます、或は同

沙州

满

阿

(201)

暗

「紅であるが、手は鬼だな」
と、奉行は、その紙片をひろげ
さ、奉行は、その紙片をひろげ れは紅蝉ちやの、大層なまめ 田沼問答公司

瞳で、す撃く、瞳のさきから、足 さ、新左衛門も口をはさんで、 さ、新左衛門も口をはさんで、

三部作を製作 東活軍事映畵

ざい程くりかへして云つて、またを行は、態度も同じここか。く うむ、よく似てゐる。よく似せ

更けてしまったんです。芝居町も 物を纏って歩いて番所に飛げて、もつさ大

中地は、膝をのり出して云つた。私はおもひます」

發聲映畵の 製作發表

松竹蒲田で

代劇部設置か時

明問調源の

月卅

日 B

ż t

で

構造-計算-鑑定

11

廷築-設計-監叔回

連連

常

一日よりの 一日よりの 一日よりの 一番組は 一部智作品 一部智作品 一部智作品 一部智作品 活

南豐

数さ」は

「はないででは、

「はないででは、

「はないででは、

「はないでは、

「はないではないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないでは、

「はないで

整宿 設備 料

設備もあります。
一般のでは、一般の

旅館現はる

の前風吹き荒ぶに今も新路大のログンス! 中できだが、一でできない。 中では、一でできない。 中でできない。 中でできない。 中でできない。 中でできない。 でいる。 でい。 でいる。 本 年度の

粹を集め

た

見伏御姐のロエと妻新將大のログ だスンセンナた來出でビンコのと 書映代時肩强のトフロクンバ製和 影撮大の死決 班スーユ

優秀新 大連浪速馬 冬の 柄 仕 格 度 安品 は 此際 豐 富 荷 揃

座夜 オン THE PROPERTY OF + 建織特殊座通り布画・新

軍 手 卸現

賣金 大連市信濃町市場

開店披露

B

御大ち曾

利小り席用御寄御

を宴鍋料 會其理 に他と

大連信

八八四一番

御來客現金お買い婚右期間中增多

ニーー 五四五一九六五五 000五五0

增 ********************************* 資 記 念

十月一日より十日まで

全店

質中央の管轄下にある総役である。これに依つて見ればるる。これに依つて見ればるる。これに依つて見ればる。

統税の本質

ら一つ消費税であることもに特殊

を 概述が中能となるのである、 内地での輸入機をでは、その輸入機をでは、その輸入機をででは、その輸入機をででです。 おいて総税を解析をでででいます。 おいて総税を解析をででいます。 が中能となるのである、 内地では、その輸入ででできるが、、 とは、その輸入ででできるが、、 は地でのできるが、 は地でいるが、 は地でいるが、 でいるが、 でいなが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいるが、 でいなが、 でいなが、

施行機關並に

支那新關稅の

『本質と現狀

虚なるものがあり般粉、整備草にであって、松に二月一日養命されてあった、弦に二月一日養命されてあった、弦に二月一日養命されてあった、弦に二月一日養命されてあった、弦に二月一日養命され

(日曜木)

狼狽の市役所

鳩首協議す

辭退組の辭意固く

はこれが前者に於て臨時艦二隻、 特したが前者に於て臨時艦二隻、 持したが前者に於て臨時艦二隻、 持したが前者に於て臨時艦二隻、

なしさ説明した

岭而議代表

市場は残留組で差當り經營

の日本人側は二十九日午後四時か安な映響さなつたので蝦竇、組合では何時解決するさも帰られの不では何時解決するさも帰られの不

合

(四)

市營中央卸賣

市場

側卸賣人組合員十二名が連袂

中役所に辭退屆出

それまで 解めるなら

九月下旬の

特產市場

九月末業績

料化電應の普及により内地 である、然しながら滿細 である、然しながら滿細 である、然しながら滿細 がである、然しながら滿細 がであるか否かはおだ。 の決趣を得てゐないので目

市場さら依要

對外貿易

失したので従って組合

の悲運

らさに領前組合、北

永井市長代理談

諸退の屆出があったから濟部組

新退の屆出があったから濟部組

新退の屆出があったから濟部組

新退の屆出があったが本

「四組は新退を承認するのもない

のではるな規則がないのだかち向

ある。之れが袋影響を蒙る市場

ある。とれがは影響を蒙る市場

ある。とれがは影響を蒙る市場

ある。とれがは影響を蒙る市場

あるではるいでは目下各課長さ

いばい

正金銀行の

是引出超 六百二十萬九千圓 東 三千二十六萬二千圓 東 三千二十六萬二千圓 東 三千二十六萬二千圓 東 三千二十六萬二千圓

一 かどうかは頗る疑問ささら一 も果して現在通りの活況な

正貨現送

における 震撃 近州は市の市場吹善 しいがため 希警遣物および 所属土 における 震撃 近州は市の市場吹香 中の使用については市と組合 この地の使用については市と組合 この地の使用については市と組合 この いに借地料のみな負擔する事とし受けつ、ある市場建物情選金なら 合が鬱道物の使用により利便な の十三名全部は連续して市の卸費 人たるここの静港を決議し直に市 役所にこの旨属出て全國的な大センセーションを擦き起した、同時とするがである。 支那音果會社を除く
大谷蘭店支店、大和屋、辻山洋
大谷蘭店支店、大和屋、辻山洋
、協和洋行、カネリ洋行、東
海公司、吉田商店、竹中洋行、東
南海洋行、外海洋行、花の屋、

新穀出廻期に

職なごころによればその機能は六 を開始する等であるが形上職様の を開始する等であるが形上職様の

振はなかつた大連港中心の

際によるものであるこ

七千萬個に上る見込みで大部分は七千萬個に上る見込みで大部分は

位車)

▲渡り 福和盛一〇、公濟棧一八五、永衡一〇、金菱標五、永衡一〇、金菱標五、金菱

五六、順菱公二七、三井七一、

五六、順菱公二七、三井七一、

市

豆暴騰

株低落 聢

九月中の海運界

網目銀版

吉成製版

電話三六九二

畜產局廢止 農相は絶對

縷の望み

十二名は今後印成の並

大に高粱に富賀總出來高一千四百十六年、受波高十四車、受波感十四車、受波を高十四車、受波歩高十四車、受波歩

一た、なほ公定相場は最高四國五 一大五車さそれと、減少を示し受護 一大五車さそれと、減少を示し受護 一大五車さそれと、減少を示し受護

中政軍大の時に後任

事業委員會を提集しこの設置を諮問表の究施を見るまで一場監督とれて戦のたいと変観して

市場も些に常覧上崩壊の残さなつ 市場も些に常覧上崩壊の残さなつ た概で今日に至った市繁中央順賞 を概で今日に至った市繁中央順賞 の全く見込立たす荷主船はこと民協 ある 『京城特電三十日襲』朝鮮織督所 を以て川穂の市場響の灰きも 石師ち一朝四分三厘五毛の縦吹で たい が、 た以て川穂の市場響の灰きも 石師ち一朝四分三厘五毛の縦吹で たい の全く見込立たす荷主船はこと民協 ある

デンマークの

金本位制停止

踏み止まつてる

減退を楽しい地 学で記する家を通過され、 「中国のでは、一十九日の食」は、 「中国のでは、一十九日の食」は、 「中国のでは、 「中国ので 金輸再禁止の 來る十一月三十日まで

九月末限

益興德一〇、順

株式受渡

り物價調で

前回よっ減少

無 一般に感じるない。 無 一般に感じる。 無 は 品藤とてる。 の 一般に感じるない。

数下の財界に難し金輪再禁止の竪。 要なし 井上職相言明す

本には、 大連融に をいたるは、 にれがなり二日臨時役就會を開催し た方であるがこ とれがなり二日臨時役就會を開催し た方であるがこ と言奏員を整断するさともに右長 に対象の通りであるがこ と言奏員を整断するさともに右長 に対象の通りであるがこ 大連商議の 上京委員詮衡

本地
トニの下二〇、ハキー
下一〇、ハキー四下二〇、ハキー四下二〇、バオメバル
ドーム、サリ上五〇下二〇、ボメバル
マーン・カッナ上:下〇・五、カッナ上三五下一〇、ムンドー〇、エー

やがて、來るべき新穀出

藝各市場休業 會九月中業績

| 一アワビ上|

全部停止せられ爾後何等の極感を全く一般の狀態に関り獣厥離滅は

武市況は極度の財界運動に直配

近して登録された総称施行區域は左の のだらう?さらにまた本でで登録された総称施行區域は左の のだらう?さらにまた本で 十月一日は大連純社秋季大祭につ

事故に発信することとなったが何 事故に知かる際外側を置く必要が が越に知かる際外側を置く必要が ながはない、現に五月に養命を見 をとしているのであり從って言ふまでしたく

393.3 123,176,2 2.972.5

18,210,9 301.8 173.7 28,018,6 214.1 704.0 405.1 13,764.3 3.512.0 710.8 626.0 13.1 254.0 134.6 42,3 211.5 57.2 156.0 57.0 232.8 34.4 518.7 401.8 332.7 300.5 22.743.3 914.1 粕骨油 348.8 709.1 42.8 118.2 1.095.6 1.017.3

を利加銀行など六片八分の七から を利加銀行など六片八分の七から をは漸騰す、房は薫製、白耳養、 をは漸騰す、房は薫製、白耳養、 をは漸騰す、房は薫製、白耳養、 をは漸騰す、房は薫製、白耳養、 麻袋見送り 編集 産地情報は避骨共一留比 原な 産地情報は避骨共一留比 原な 産地情報は避骨共一留比 ですり送った、引際減能は現二 十二銭、十二十銭五厘、十一月 二十銭三厘、十二月十九銭八厘。 一月十九銭八厘、一月十九銭八厘。 一月十九銭八厘、十二月十九銭八厘。 一月十九銭八里、十二十九銭八里。 一月十九銭八里、十二十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭八里、十二月十九銭八里。 一月十九銭一里。 一月十九銭八里。 佐志醫 五〇二一番

鈔 豆柄◇前

限

貸出勉强

語六一七·六一八一 御汽般株式會社 加賀町三〇 三省

がある

受 取

商 额受额形計引期

穀粕梁豆▲繁 三一〇十六春3

世界 海行 医山泉 十月十十二 大阪 商船 株式大連支店 电新四一三七番 电新四一三七番 电新四一三七番 电新四一三七番 电新四一三七番 ●安東 行 名古屋行 二等五十個河南丸十

四十八圓九十錢

聢

(弱保合)

先

九九 | | | 限

等替相場 一会留比 實筋直積 三留比 經筋直積 三留比

替

相

海標

大理石製

粉

耐

467.7

3,786,0

0.0

1.741.7

318.2

3,067.7

77.9

471.1 THE RESTAUND HER SALVERTON

電話七八五七番

治尾道著 十月十日午後五時 司 着 十月九日午前六時 品 着 十月九日午前六時 品 着 十月九日午前七時 品 着 十月九日午前七時

排日は斷じて無い

職業際長前に総介の勢をさる、 「大日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に な日本語で動派の意を表し、直に

努力するつ

善には極力

につとめ隣邦

治安維持、即方簡単にい

り、刺を通するこ大きなガラン の職件所、新長官公署の門かく

長官たる以上

在留鮮人は徹底的に保護する

熈新長官抱負を語る

卅日吉林にて

加藤保敏特派員

(-)

職者無治療験量を訴ふでく三十日 つたやうな衝政解、調ち新しき政 をは成しのだ、魔立を質覚するまで、門前の標準が遅らった存物にあった。 をは長は武人の常さして随分能の を成長は武人の常さして随分能の を成がされだけにして、魔立を質覚するま で彼がざれだけにしても観察にあった感の を成がされだけにしても現突も を成がされだけにしても現突も を成がざれだけにしても現突も を成がざれだけにしても現突も を成がざれたには、はた の見る目も細の形だつたさ観察さ の見る目も細の形だったこ観突も を成れての符々たる流れを眼前にあったで彼がされたでになった。 を表れての着とき政府の他のはためきに力強い を表れての新しき政府の他のはためきに力強い を表れてのがされてもあった。 を表れてのだ。 を表れての着とき政府の他のはためきに力強い を表れてのがされた。 を表れてのがない。 を表れての着とき政府の他のはためきに力強い を表れてのがない。 を表れての新しき政府の他のはためきに力強い を表れてのがない。 を表れてのがない。 を表れてのがない。 を表れてのでは、はた を表れてのでは、としてで解する。 を表れてのが、 を表れてのでは、としてで解する。 を表れてのでは、としてで解する。 を表れてのでは、としてで解する。 を表れている。 をまれている。 をまれている。

| 「一大学院 | 日曜代された。これ特徴州日孁 | 吉林震立政

したいが何分二十年も使はないもないが何分二十年も使はない。本来なら日本語でお話を回合す

外交。針を確立すべしさいふにあ

奉天に引揚

第三十九旅團

载

敦化出動の我軍

諸懸案解決

外交調査會や設置

満洲事變と樞府方針

けふ中に吉林に引揚

錦州政府

は 月一日中に吉椒に飛揚げるこさに 地方廊が全く平壁に歸らたため十 数化書動中であつた榎本支際は敦

宣誓式

洲

安協は八分通り成立説

(刊日)

目を立て 鉄八・人本十二

撤兵時期は決定せず 聯盟理事會特別委員會の解決案 日本は承諾を回答

決定しない方法をとつたもので、日本は希感祭において飛騰を軽くた。 若し更に滿洲問題詮議の必要あれば十月十四日會議を再開するの満洲事態の妥協解決党を売して、若し更に滿洲問題詮議の必要あれば十月十四日會議を再開するの満洲事態の妥協解決党を売して、若し更に滿洲問題詮議の必要あれば十月十四日會議を再開するの満洲事態の妥協解決党を売して、若し更に滿洲問題詮議の必要あれば十月十四日會議を再開するの満洲事態の妥協解決党を売して、直接交渉に委ね理事會は一先解散する京島の代表五名より成る総監事事會特別委員會は北九日夜日支代表に跳して東京特體三十日襲』だ、佛、郷、西、伊五ケ國の代表五名より成る総監事事會特別委員會は北九日夜日支代表に跳し 蔣氏の下野は絕對的

九日夜日支代表に對し

本倫會議の結果勝氏の下野な條他に受協が成立せば或は繁備會議の名を現て勝氏の下野な全國に無監 、任今尚反對で絕對的に蔣氏の下野を要求してゐるを際へられてゐる、慶東では今尚反對で絕對的に蔣氏の下野を要求してゐるを際へられてゐる、慶東で、唐東側は南京代表の提出した蔣介石氏の總司令、胡漢民氏の主席は廣東側は南京、慶東の安協問題は整心で職代表會議の結果在選さ解へられたが、一部に 南京代表請訓

本待つてゐる模様ださ 本待つてゐる模様ださ (本子電話) (本子電 旅の兵の錦州着

廣東側は强硬に主張

抗議書提出 公文書事件の 關東軍々需品

カ軍職品を輸送した 関東軍智守司会都では三十日午後

北満の支那要人 去就に迷ふ

就に迷び目下極力研究中の機繁で お北高参方館に通じたいめこれを の北高参方館に通じたいめこれを の北高参方館に通じたいめこれを であるここは事質である 『長春電 感知した支那側要人間には巻自去 話』 熈氏の獨立宣言に 吉林逃亡兵

等代徴せぬが針である。長春電話」を批談せぬが様常低難な機様である。然し我が様常低難な機様である。然し我が様常低難な機様である。然し我が様常低難な機様である。然し我が様常低難な機様である。然し我

は軍権会議参加の推議

イタリー提出

た國の政府に對し一

那民衆に黙する称告交六十餘枚な日闌東軍司令官及守備司令官の支際民族内領事館出張所にては廿七

案の解決を圖り延いて我外交基調を確立すべしとこの意見が脅力に嗤くられ中には滿蒙問題に關する國論統一を圖り舉國一致の力を以て滿洲諸縣定鄉本會議で濟洲事變の國際關係に及ぼす紫峽及び今後の外交突激等につう實職を報行る響で蘇問節電東京三十日登』三十日の樞府本會議では滿洲事件に關し際明鄜城したその東大陸に鑑み頭に七日の

る外突が針を定め一般演響問題に對する破平不動の疑解一致能を超越した凡ゆる方面の概感者を翻縫した大規模の外交外交基調を確立すべしとこの意見が有力に嗤へられ

我布告文を 大半剝奄 復歸困難 開原城內支人

ど交渉を為す 「安那に不利さなりしため第 京三十世数」南京登城所着艦 京三十世数」南京登城所着艦

日本と直接交渉 力を借らず

僧を協議中だが最近に至り南京政府の手を借らず東北自身直接日本 【北平特電三十四點】東北外交委員會は連日會議を開き滿洲事變の善後措 東北外交委員會主張

支那側第一 抗日を繼續、 對日戰準備 學生、義生

軍備一年休止案 恩見一致せぬ情勢 ささした、 関に報告書提出 九日午後三時軍 日銀開税を一アンチ等張上げ一れた印度緊急操銃の追加さらて 表、現代輸入税は六アンナであ 【東京特電州日報』シムラ教電 引上げ 菅原總裁來滿延期

吉林省政府 確立に時日を要す 就任辭退者が續出

殿を挑談してゐる『鐵嶺電話』

支那側挑戦の

多門師團長談

は全部武装して

英の輿論

中隊の織成が出來るや

新任並に轉任 財政職長 孫其宮(民政職長) 野樂廳長 張燕卿(長等市政公 所長) 教育廳長 李鶴恩(吉林大學副 校長)

及び主なる縣長を伝命し、これをなって織立を職員と、宿政府委員と、宿政府委員

二十八日登表したが、二十九日に
に既に離職を申出る者郷出の有機
で、吉林郷立の基礎が総立するま
で、吉林郷立の基礎が総立するま

類種縣長 張壽山(延吉縣長)延吉縣長 姜思之(準甸縣長) 質明善 程可甲(天圖鰕

幣原外相見舞電

昌分李錦綸氏が代行

公使

三十日までの人事異誠左の姫とこれてゐる、関に郷忠賞記後

從つて安

吉林鄉備處長

氏愈な辭職

辭任せる者

部長の

式舉行

の首脳

全職職氏が監接の事が部長の事 經過良 当 王正廷氏の經過 以内で湛院の筈で 資際に對し幣原外根より深遇なる。 《南京特電三十日録》 王正廷氏の 半旗を掲げ

娛樂禁止

當然

日本の處置は

る事を残めてゐる

上なして述べ職盟か

益を無視せらめるやうな

廣東政府布告

常に監然のみならず駅の転れる感性を聴き日本軍の執れる感性を動き日本軍の執れる感

要人百餘名が出席

小と戦人とて ト千名を召集 と撃隊一致の態度を持してるる 焼丸政府は仕七日より三日間や総 焼丸政府は仕七日より三日間や総 がおって映繁を停止する旨を布害

法庫縣水上警察局長 出動戦備には続きれてゐると『緻田・町で目下通江日水上警察が局員は 總本店

紙なるな承認してゐたさ

露支國境に

ための準備なり上警察局長は日

な借歇を有してゐながら一文の水各種鍛道は支那が日本に莫大 三千の學生際は十九日午後三時で教で蔣介祖氏で會見したる 【南京三十日数】上海より來れる 蔣氏ご會見 二千の學生團

平的解決必要

井上国四郎子の意見

東部の發表によれば滿洲田 東部の發表によれば滿洲田 三萬の兵骸には疑義あり

だ。法

人阪屋號書店

ABCの讀方 書方より

に依る改版内容倍大 英語入門の好機來る ド贈呈・新中學令

性々述べてるがすが

態度に関し各

高男者滿州問題 変質一圓五十七

蓄音機貸與・競声レコ 英講」は「井上」!!

確 著 道

大店用



4英 智字帳(全一冊

和辭典贈呈の特典あり他に學費全免・井上英





感激の

斷

片

五百旗頭佐一

安全を同胞に通信して下さる記者での程業吉模拟人の感謝さ喜びさっての程業吉模拟人の感謝さ喜びさっている

を でもがそれか 機多の実験を愛してので またく、吉林在部邦人一人々々 離

が根本能に開立の

民經派さこの二つだ」さはつきり答

交易所受渡しに

日本金を使はぬ

ないさ考へてる

千萬弗から三億六千萬弗に削減す」は起工を延期するに要表したるにフーヴァー大統領は深軍省に 海軍長龍ノダムス氏は今年度起工るにフーヴァー大統領は深軍省に 海軍長龍ノダムス氏は今年度起工

五千萬弗を削

驅逐艦六隻起工延期

吉林同胞の安否を

知らせたさに焦る心

努力で離く午前一時再び長者さの下すつた、かくしてこのお二人の

せう」を繰返しく電話なかけてのがにはどんなお手傷ひでもしま

一路か止まつた男子の邦人は何れも 述べることは戦影響されることで

たい、なんてまう説剣におってもない、なんてまう説剣におってもたが、それがことで記がら思つてるたが、それがことでは書の製練であつたことを今にいるのの選挙で知ることが出来た、彼

総その表へだは 総軍で知る

を唱へたのであつた、長春騰まで

その室にゐた肥者室は思はず萬畿

目愛國者

王外長の負傷

変字・四民の編利を求め貧民婦女子のために旅粥所を設けて政濟す、軍政事項に對しては本會は關港せず、方の安寧さ四民の編利を求め貧民婦女子のために旅粥所を設けて政濟す、軍政事項に對しては本會は關港せず、方の安寧さ四民の編利を求め貧民婦女子のために旅粥所を設けて政濟す、軍政事項に對しては本會は關港せず、方の安寧さ四民の編列を求め貧民婦女子のために旅習するを使って本會は自動的に撤入が、高漢は佈告)

日廷周璽

日

元来日本が此上領ゴラ である者なら皆知つて居る。そ である者なら皆知つて居る。そ である者なら皆知つて居る。そ である。 である者なら皆知つて居る。そ

年

税を

開始

六

社

說

大統一男少將に内定した

のやうに吹き ではない !! なの理由さ ではない !! など

生の通響制器 なが他地がに比し であつたから他

れば滿電會社は溝電磁自の並揚たならば、それこそ無定見も提だならば、それこそ無定見も提だないさいかべきである、何さな

車戦さして父兄から出して戦ふ のが普通である。されば浦電で のが普通である。されば浦電で のが普通である。されば浦電で

お答へ

政と姚理すべく戦争中であるが縣 【巻天電話】

旅順要塞司令官

後任に大谷一男少將

反省

内以行十五

迎款書投

すらさは個中

を出す必要はあるが、敬入のある前者には納罪教を出さないが が合理的であるさいはれるけれが合理的であるさいはれるけれが合理的であるさいはれるけれ

る學生の大部分は學生自らが電 を稼ぎ出すのではなく

ら見て遊鳴な方法ではないですないないでは歌響のないを間要生の熱船から常間要生の熱船が、現下社會の既認かないでは要生の熱船

大谷少將略歷 明治三 大台少將略歷 明治三 大尉、大正三年十一月少佐、同 十二月中尉、同三十八年六月 中七二月中尉、同三十八年六月 中七二月中尉、同三十八年六月 中七十二月中尉、同三十八年六月 中七十二月中尉、同三十八年六月

快に强徳態度を執るべく建議すべ 上に根議會職能の密【奉天電話】を職能し政府及軍監視に議聴業解 上に根議會職能の密【奉天電話】 奉天税捐局近く 全滿邦人大會を開い 我當局を鞭撻 ける奉天有志が協議 する

立派な武人

厚東中將語

の廢業問

ム更に眞意を訊

巾當局の

か金

大谷少將は

生は多く親の厄介になってゐるとは、後、親の厄介になってゐるか、整問學生は智問廳いて根當學

るもので認めても差支ないこと 比較的有産階級の者には書号

校に通はせる事の

たら何を苦んで今頃内地等の資 で立派に料金を定むる事が出來

「現在組合の保有金は極めて少く が支機に機能でたのである、され

も提出せざる以上は市場規則第二

語學校生募集

時より土肥瀬市長以下各無長巻集、を脱き概全の微戦を開始するに決した、低し微前の不管無税に頼するに決していた。 開業準備

孝宮さま御誕生日 東京三十日教』第三皇が禁宮 和子内親王殿下は三十日御蔵三 和子内親王殿下は三十日御蔵三 の御護年日か思へさせられた 歌の御護年日か思へさせられた 歌の御護年日か思へさせられた

交通、中國銀行は廿八日開業以來一窓天市政公所では準備整ふと共に 辨理

東熱間のため戸田山美、小山倉之 東熱間のため戸田山美、小山倉之 東の五氏を深遺することに決した 一行は六日出養するが、木檜三四 那、木村珍樂願代職士も自ら進ん で参加同方配の脱深を破察すること 民政黨慰問使 第十一師歴長に樊戦の報を齎しば一

岩光市場主任らが三十日午後三時長濱社會課長、大久保財務課長、

211日午後三時では11日午後三時

卸賣人廢業後の

大学はこれまた監然は全域の支 出な必要さし、配してその登機は 同期間中に卸賣人たりし者が資ふ できはこれまた監然であらう、一点 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 して十三名の際聖後における成行 してもしてものである。一点

善後處置と影

大連第二中學校勤務ヲ命ズ 佐関東麓中學校教諭

▲ファントマン氏(駐支獨公使) 夫人令息同伴三十1日午後五時出 帆の武昌丸にて端任 ・ ツーンヒル氏(米國陸軍 ・ 少佐)同船にて天津(

開東廳幹令 [三十日附

では目下來連中の第一生命保險矢野氏歡迎會岡山縣人

那門科、日開科技会學級に養社の車になつたが、この際変語科、支軽の十月五日より後期を開始する

でない、大連語學校では九月末日を以てなれた連語學校では九月末日を以

人氣引立す 大豆反落

お答へ 夜昼生の通學割引券 についてはさきに御返事申上げ についてはさきに御返事申上げ を述りでそれ以外に申上げるこ さはありません、これに関して されるいかこさなご はちりません、これに関して

東新九圓臺

をいる事が合理版であるさいふ結論 になりますが、如何です。 になりますが、如何です。 內地大引軟弱

况二十

者からは可成取らないやうにす 者からは終り取るが金の有る

資本金 二百萬圓(拂込濟)

③英語器カード 英習字手本 ②英語讀本辭書

つてゐるのに摩紫者にその支掘教 松一都中一分五厘に實質質數手敷料が共に未搬にな ついて摩絮者は既に實質質數手敷料が共に未搬にな ついて摩絮者は既に實質質數手敷料が共に未搬にな ついて摩絮者は既

が要なして概らて、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に が、次に市手敷料に

りが吸すべき本年四月以経り一、一で調査人士三名の際架につき現に間で無いのでは、中に卸費人として無いのでは、中に卸費人としている。

て市場を使用した

市長詮衡委員に

非難の聲あがる

各派譲らずいづれも小田原評定

市場は残留組で經營

行されてなり、耐し組合は現在発 秋で本年度の組合態物でがは元本組合意を部で三年 年度分の建物機が健康は元本組合意を部で三年 年度分の建物機が

概

•內容見本進呈• 教師マイ・フレンド

11

上海標金の保合を眺めて宮市經と 野付高値安値大引 別 近 異会 聖10 異宝 里の 出來高 百四十八萬値 全現物 取 引(単位語) 銀對金 銀對洋 金對洋 一時半 異岩 11度温 11量表の 三時中 異岩 11度温 11量表の 標金保合 出來高{銀對途 三萬八千圓 ◆定期取引○單位錢) 當市不變 一四六〇 二八二五 報

上海金融機關の排日 、 長の所繋である、彼等には然能 を聴憶数ない、人道もない、沈んや國 をでしたさはいく前長はいる際に数が動って似らり等はない。 を育長だ、その官長が個等抵抗力 のない良民に黙し、緊緩無残の行 にその似があるかへ戦闘武さは戦 にその似があるかへ戦闘武さは戦 にその似があるかへ戦闘武さは戦 にその似があるかへ戦闘武さは戦 にその似があるかへ戦闘武さは戦 にその似があるかへ戦闘武さは戦 の影響さど彼此の数して見よ▲今 大の滿洲事態について、日安双振 大の滿洲事態について、日安双振 があるか、自ら地ることであら のであるか、自ら地ることであら のであるか、自ら地ることであら ければなるまい▲観覧を映場 馬賊、既残兵の暴虐から良民を保すここなく、いやそれのみか土匪 く戦身れ努めてゐる我軍

拓務院職制 二部制採用と人品

称の二部総を採用し、前側部 名の人員を要すべく目下部配 名の人員を要すべく目下部配

般銀行業務確實に御取扱申候の大五二季大九三〇世界五〇〇二等

栗のきんとん

営養價高

望ましいお子達の學校辨當

學年別のおかず色々

チエモトは金兵衛に観聴の造り 3



大の時、直撃戦に自分の運動をは、英の時、直撃戦に自分の運動をは

錢麗

(六)



お って大きさを塗へることは呼すま 里子肉をばろか さこはんを入れる容器も年齢によ すこれに季節の流暢を適宜盛合せま ませう すこれに季節の流暢を適宜盛合せま ませう 株 関兄 に を か たこの標準線 里平肉をばろか

材料 分量 蛋白 カロリー 玉葱 二十夕 〇三五 三三十九八四 玉水 一、〇二 二七、四 一、〇二 二七、四

きんさん」と『ご飯』

りが出て繰り凝固らない中に火か

中内其他の甘煮

ŀ



生生生生生生生生生生生生 ヶ月のの



出産から誕生までの、一番なるでの、一番なるでの、一番なるででである。 畫報式育兒法

の 別冊附 錄

の價値がある

文願り知句第一回着荷 中に御注荷 國英 現代新人の嗜好と味覺とに 製菓界の曉星 ーのトフサ (正蛛四封度化粧罐入) 價 定





X



人院隨意

院長内田類一

連肛門

病

院



牢 美 優、裁 體 店理代總袋足やちつ

店本行洋連大龘 番三五二二二 長話電













婦人會の活躍

船と線出でこれらに點して焼出しその。網線超兵隊競船部隊と協同して市街の

では全市民趣

『風房店』

「風房店」

「風房店」

「大学大の小様を願し歌楽同が配って参大の小様を願し歌楽同が配って一十十日

「大学大の小様を願し歌楽同が配って一十十日

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を願し歌楽同が配って、

「大学大の小様を解しています。」

「大学大の小様を表して、

「大学大の小様で、

「大学大

連を出蒙して連続の親にづらに微 門井鑑、片端繁吉氏の各季戦は二つて職を郷しても楽骸な職が見つ の幅出熟選、花順養助、製平殿面連を出つて行くここになり廿七日大 三宅玉次郎、売井密策、哈井覧一を頼つて行くここになり廿七日大 三宅玉次郎、売井密策、哈井覧一連を出つてるないのみか各所を題 長名にている財産をしたが季覧を連を出ってるないのみか各所を題

守備隊の凱旋

大十名である談民の最も難みさせれた特殊共業者教養は今中御職でするかが等点に職ならかか彼等点であると、 民は今日の日を如何にして生の程 れた特殊共業者教養は今中御職でする れた特殊共業者教養は今中御職でする なが、非人道経験がは今中御職でする なが、非人道経験がか何にして生の程 れた特殊共業者教養は今中御職でする

指上男を解放 総五百個を飲みと整緒に続らしめ 治安維持を期するため自警局に長 のあらる

男兒の志る空し

遙々滿洲にやつて來た

青いルンペンの行末

軍の家を尉の門軍の家を財の門

連を去つてるないのみか各所を題

で開金大半四百元を要求し目経 脚版で化し地が良民を苦めつくる 脚壁に約二十名の既兵現はれ部 十八日午後七時愛理場に応えする既愛兵は 一十六日午後縣下第二區 陸道等極端は修中家長北率の下に

脱兵が横行し暴行掠奪数少の忠懲

悲惨な鮮農

(日曜木)

の農家に廿九日午前八時ごろ十八の農家に廿九日午前八時ごろ十八

公安隊員掠奪

避難鮮人八百餘名

暴虐な兵匪の非人道的行為に

漸~重大社會問題化

市民各位

暴虐の限り

部落に押しよせて大掠奪

婦女子を人質に拉去

日

到底及けず窓に第一窓はある

院職現金出族保主任赴連の結果部 調に進まんさしつとあり、片々場常が監監全部の徹底確自供策を練 會も去つたので風警が瞭職をが監監全部の徹底確自供策を練 會も去つたのと連帳へ流入する銀幣が監路と出族、唯中國從事質の食料思越に日 も称談付き風替好懲の案すべき機

敗殘兵馬賊化

を全く大願さる經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。の公定相場 を中心さする經濟宗。

一が新天の大観波たる「電観波」
一が新天の大観波たる「電観波」等は表だ際店に至ら
「漁製銀行」等は表だ際店に至ら
「漁製銀行」等は表だ際店に至ら 大れな探院所電店で前記飯票でご を米、吉米、栗等主食物の大戦仕 入れななこ一方歌食物らうんさ仕 入れななこ一方歌食物らうんさ仕 【公主篇】公公徽附近に移動暴威 た選しうし各部落を売しつ、あつ た大小の斯城配は大馬城県の繋返 した之がため我軍の一個小隊 したとがため我軍の一個小隊 が侵入し現が半六十元を職能選定を支那総が融だに一名の製金銀金を支那総が融がに一名の製金銀金を支那総が高がに一名の製金銀金を支那総が高が出た。

鮮農達を護つて 邦人悲壯な決意 八棵樹に危險迫る

來た鮮農の質話なそのまとで六人あつた――と最近歌

不安な北寧線

發車時間不定

鮮人拉去さる 東世とめるここになつてゐる之が ため 要車時間などは見驚らつかで にならの 不自由さである、 故に 平 常通り 弾車の運転が 何時後するか ではなられて自由さである、 故に 平 が で かっぱなられて はまだ 見ぶが い はなられて はまだ 見ぶが で ある とが

軍隊に慰問狀 く來會者多数に に然て滿洲事場 の下に三十日午 海 職者追悼會を開いて、 ・ 後四時から興隆が ・ ののでは、 ・ ののでは、 ・ ののでは、 ・ できる。 ・ でを。 ・ でを。 ・ 追悼會

会官、多門第二師覧長、森・備家 が聞せられつゝある本民関東軍司 が聞せられつゝある本民関東軍司 要な驚み追悼譲渡 追悼會

『無順』聚塵なる無兵に追はれ経 民多歌の出恋へあり萬総繁神の下 武器を に歩式 がくて 大阪では 禁口を 発展して来たが 逐日 概が 変した として でいまって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって によって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって によって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって によって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって によって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって によって 居るもの前記の内三百 のにて 支那側に 一展 連帯 治安の 禁い かって は かって さい は かって は か

一戦の下に機滅すべく用意せるも一戦の下に機滅すべく用意せるも

自警團に長銃

老母聯 かる

常然な話です。 然と相違が生じますと云ふのは

共にとつては全人有難い調であり

サ九日長春より サ九日長春より 往來

と不能を嫌ばれる向もある 石鹼は別 中等村 福助文章

それも強つばなしで居たりしたもったいと云ふのでき続き粉を使びないと云ふのでき続き粉を使びないと云ふのでき続き粉を使びないと云ふのできがきかなるとのないと云いとす。ノリノビオ 鼻: 立。 坂東三津五郎女

目。

とすが、此自然は崩れないのです。 い 識手機を終つたもので全體を押さい。 のれば実際よくみえるのです。

を記述しても映して を記述するという。 を記述すると、 を記述すると を記述する を言述する を言述す を言述する を言述す を言述する を言述す を言述す を言述す を言述す を言述す を言述 成ります。サーフ自然は實際とし 地に、全く申分の無い他独立りに 地に、全く申分の無い他独立りに 地に、全く申分の無い他独立りに をしい。全く申分の無い他独立りに を一面に薄く引きまして、それからもう一度機へは固嫌を、又質面へは肥色が自然を附けますので、へは肥色が自然を附けますので、 が脚毛しまして、其上へ解紅し、 が脚毛しまして、其上へ解紅し、 ではないますはの地肌を作るに作用の緩和というサータで軽がを強から顔でれからサータで軽がを強から顔ではないますはの総がいますはの総がいませばない。 た一般に薄く引きまして、それかここの所でサーワのヴァニシング が自然を、又襟の方へはサーワの脈 間で此頃流行つて居りますお化粧 知つて居ります若い女の人達の

先づ本ムラの姿は本年限りで御座います來春より時代に順應し大々的改築を耐得る為め名質共に滿洲首都旅順の名に取り、大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神地では大人の神道を開発を重ねです。 現在のキムラの姿は本年限りで御座いまで有き活躍致す者で御座います何卒來春中です其時こそ十ムラの時心の姿を断れて、大人の神道を開発を出現せしむべん。 に撲撃を重ねです其時に、大人の時心の姿を断れて、大人の神道を開発を開発を開発を出現せしむべん。 に撲撃を重ねです。一次の神道を下度本年は、大人の神道を表して、大人の神道を関する。 では、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表し、大人の神道を表して、大人の神道を表して、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表して、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表し、大人の神道を表しる。

この際を期し 稅捐局撤廢請願 安東附屬地商民起つ て

> 留守宅慰問 出動部隊の

宅を勝して慰安

商

ので要所の影像を賦にしい時に発

官兵三名頁傷

匪賊團と衝突

田原

時から見れば純紫たるない。 一 ちずさなる神感地は大きにあるがいきはいくで記答すべきにあいくの如きな日本軍のもさに聞から見れば純紫たるない。 一 ちずさなる神感地は大きにあるがいるが如きは配じて許容すべきにあるがなきないが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地は大きにあるが、 一 ちずさなる神感地が、 一 ちずさなる神感地が、 一 ちずさなる神感地が、 一 ちずさなる神感地が、 一 ちずさなる神感地が、 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる。 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる神感が、 一 ちずさなる。 一 ちずなる。 しずなる。 しずななる。 しずななる。 しずななる。 しずななる。 しずななる。 しずななる。 しずななる。

慰問袋

サ

ワ白粉の

洋。

◇樹勢無鉛で地肌からの美しさに◇附着よく伸よく、剝落ちぬ白粉

剝落ちぬ白粉

に乾きますから其跡を何か柔かい

の焼食粉を水で薄めて、塗刷毛で

三木元子女史

全部を徹底的自供

金銀兩替停止の恐慌救濟の為

撫順炭礦當局の對策

0)

日常必需品

方にニトレーニー、「震場」を影販西昂の時間の

の 保着かに所持品は全部製はれてる たのを發見した時細盤い彼も全く たのを發見した時細盤い彼も全く 大響落艦したそして弾車が二十八 上端天に 着するや足な鏡西が配 に向け飛代町二番地西尾農場に起 いたそもて彼はホットする間もな くこの苦界から脱せんがためネコ

窓帯電偏隊の特に 管地に於いても

が抛去されその所在全く不明であ

白衣命を奪ふ

振り織の無疑炭硫幾萬の中國労働 にその他の原因に依る銀路騰に伴 にその他の原因に依る銀路騰に伴

生活の概本たる食料品が金銀雨を搬に原因する

大学 が楽、第二家たる食料上製生活的 名の郷家が聞入し家人を報迎して 会 さなつた、町ち微水一部分郷工に な楽が速走の途中通行人二名を服 でしく 養行する (社外で流用さ によれば寒郷はす服果十余野社 によれば寒郷にす服果十余野社 によれば寒郷にする (社外で流用さ たの公安局員で時局のため絵料も にかまりも高麗光線取扱から表外 によれば寒郷が聞入し家人を報迎して 会 は しんちかまりの愛悟で) 両して背 満足に支続されず民民を襲ふて探し れてもかまりり高麗光線取扱から表外 響するものならんさ

七十名の馬賊

拳銃强盗侵入

生命は取止める模様である したかくて滿洲の土 遼陽部

隊慰問

で化粧しますか、或ひは

サーワグアニシング

付けた事が分らないで、色白に見り無に擦込んでしまへば、自然をサーフ脱色粉白粉を刷付け、之を

サーワ肌色粉白粉を刷付け、之をクリームの少量を擦込み、其跡へクリームの少量を擦込み、其跡へ

大サーフ域自然を、サッと洗び流 たサーフ域自然を、サッと洗び流 たサーフ域自然を、サッと洗び流 がまり、自然が地

諸

響適粉化粧が好いとされて居りま に成りましたが、此洋装の折には

其上を叩いて窓付けるのです。 かて之に凄淡をつけ、牡丹脚毛でなったことに凄淡をつけ、牡丹脚毛では、 押付け氣味に削いて行くの

い、と思名す方は、続めに 製造に依り及好みに進ひます。 実験化粧の方が自然らしくて好 実験化粧の方が自然らしくて好

慰問袋を 軍隊に贈る

ち継、船底から脚、また限手限脚と も良く洗び火整へまして、潜かに をはに致して置きます。それから

ミッワ石鹼

お領でで

サーフ固煉白粉はサー

【整山】総山郷立端像繁余大隊 出価軍人に難する融画級一千九百 出価軍人に難する融画級一千九百 要と四平郷に在る大隊本部を誤問 類よしたが之に難し上田大隊長は 贈集したが之に難し上田大隊長は ちの謝

遺族か

ーフ類紅

450

六助の文郎五律三

質に效果の撃るものでございます 肌に滲込んだやうに美しく沈んで

------ 店商の等吾

外の服洋紗羅

雜

を寄立即度一たしまめ始を

いさ下較比価を設値さ物品

か 意して掃除致し度いもうで か適宜に か適宜に か適宜に

人自

ーワ白粉は不思議なほどキ

して歌歌品を

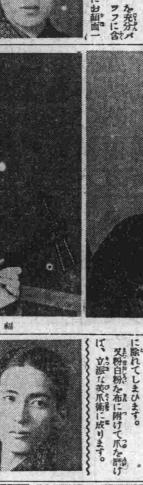
ーワ白粉下

解の小量で か

飲、及お顔の方へも強

サーワ粉白粉 それから粉





(人俵上刀本一)たつおの丈助福

種。化粧法 坂 東 簑助 丈

具世 一帶 一大道

緒

方商店

電話五一〇番

田村 商 會 職 支 店

及 理

町業青市順旅 商野 吉 备六八一話電

方叫 電商

安全經濟便利で 知産祝さ 進物品調達 道世 具帶版 御返禮品品

石油厨爐とアルコールコンきまずれば見本を御覧に入れます

生ぶ洋日リ み たとて 本ん 髒う梨梨ご 品質特選 多少不拘配達迅速 旅順驛前

月見農園賣店 電話六二〇番 旅順市月見町 見農 園 月

順 商 店 內案

旅

(室女ワツミ) なさるが宜しく、何れに致せ此サータは続に依る粉化粧は、紫更韻。 一億この洋坊の坑の化粧には特にて既に宜しいものでございます。 、通し度いものでござい

舞古手の丈助養 れから雨掌兩脚は勿論、着用

化批

その化粧としましては突張サーフ をの化粧としましては突然ですが、 勝深く 化粧斑すのは いまして いまたも 一

ワ肌色粉白粉

話三〇五番ラ

同同

上上

宛

五圓券

商品館

商

品品

枚宛

同

五.

宛

圓千

同

 \equiv

宛

大都風を吹かせ遊興してる

教育資金さして金十圓也を廿八日 東天署に寄附して出た

から衛生小學校にがて開催された。學家の體育研究會は卅日午前九時一時通學校、登通學校、登通學校、全

御めて

體育研究會

【報山】総山警察署際構内派出所

手荷物に拳銃

成大日本職合背年職第六回演外観察 第三十名は三日、三重縣小製校長 第二十名は三日、三重縣小製校長

住家・住宅店舗向賃四五圓 能登町三病院の機

れては時局のため管分延期に決したは時局のため管分延期に決した

實印 の御用命は

寫眞

ピツクアツブ

機花薬十八番八、六、一機花薬十八番八、六、三、一

公費滯納整理

在鄉軍人活躍

森参謀長越に朝鮮軍司令部見去参
が対決議を含ら第二十帥既司令部
が対決議を含ら第二十帥既司令部
が表別の原駐地復跡に對したの
の原駐地復跡に對したの

大隊本部に對し版に引揚命令到着《安東》安東出動中の新義州第二

三輪大隊引揚

の多代を極めてるたが今回の日文 の多代を極めてるたが今回の日文 衝突事体突養後急遽率天が館へ起 き二十八日歸族とたので時局概氏 の多代を極めてるたが今回の日文 の多天行は注目されてゐる

その名稱を捨て元の窓天省に立。皆が獨立して別個のものさなれ

羅振玉氏赴奉

丸房店小學校父兄會に左記の寄贈

父兄會に寄贈

立後欧名されたもので今回東

る。民居店機関區以際井濱氏は監地自り出版を表現の一部さらて全十国を寄る。

『奉天』在宗文那側要人間に今回 ・ では、 、 では

奉天省復活

改名の計畫

電本天』今回の事代で転天市内の 発養後二、三日中のみ称騰貴もた のみでその後は平常に後してゐる のみでその後は平常に後してゐる 出荷漸次減少

又復電線切斷

待合室で急死

房

雇被 理

【長春】廿九日午前中寛媛子より お来長し長春縣三等議合室のペンチ かれましたとのであった氏名不詳の支那 1 十一章は一日も忽にせず今の経典部に 一なが、一日も忽にせず今の経典部に 一なので軟種の種目につきを學歴 であるさ を無り延期さなつた低しが飲め十一年の日施行の運動會を選起さば止! 月四日施行の運動會を選起さば止! 運動會は中止

新古 金銀白金ダイヤ時計高質 電流二二六番 青野町二一 鈴木金陽堂 貸衣 裳 日陸町 三浦屋

山縣通日本タイプライタ

モミ療治お望みの方は

電話四六九二番

大連市伊勢町 大連市伊勢町

花

中央試驗所御發明肝油入

屋

大連市信濃町市場前

質

女給募集。 東町・リー 等 電話三四一六番 コニオン

家政婦(通動派遣

岡部紹介所

Torigonoum, 類質之十球を拠五拾過 類質之十球を拠五拾過 類質之十球を拠五拾過 類質之十球を拠五拾過 類話八三六二番 競話八三六二番 大子 クロニーの大大 を発直すに参上数します

酱



質

産婦

、五十圓未滿には金五圓及五十錢海に補助福引券進呈、土錢海に補助福引券進呈 一枚進呈

日より 「などれのと言語」と 印范

記

一学主風 呂崎 略痛手足の痛む御方様 秋風立ちて感胃期來る 油断大敵倒れの先きに 四ツ目印 にんにく葡萄酒を 常に召せ萬病撃減、健胃整腸、 常に召せ萬病撃減、健胃整腸、 輸入病に効果偉大 大連市山縣道 LAUTHONIE 皮 醫 -1000六電·五二町野吉連大 生殖器障碍 病 井上醫院

軟 標 標 素 病 病

胜

軟性下疳

壽堂醫院。 大連市岩代町十番地 **電話八五九九番**

大連近江団西広場角電3910

淡尿器科 皮属梅毒 大連四頭・常盤橋・西廣場中間電話七五二八番

000

味覺の秋?

治湯 始 泉温子崗湯

御料理

11

ピス

ビスは断然大連 きせな さべ 料理の提供 御料理と

アクライオン

永井婦人醫院 大連市岩族町四十三

電八二二六 鈴木

奉天の物價

平常に復す

濟生會に寄附

参五拾拾

女中

美少 女二名至急入用 譲店 此印に限る

軽変元 生濃改良の三山島紙 関中に家庭向徳用の

天津 ボーズ 天祭堂

運

番三〇七三電

御塔里送 通關代州

起情 物 荷造 送迅速・通關手續 送迅速・通關手續 法的复数用命な顧びまず 票比須附五九 正特に專問の技術者な例は 古市運送店

建市渠速町三八持田順天堂

二〇一番 電八九四八番

重要 淺野 静東京 一日一圓 東東一切一日一圓 東東一切一日一圓 東京 一日一圓

沙河口大正崗八五三共南會語合製、特製大博士あり

電話二一八六六 等 主

即を割り

音器

信濃町一三五 木村屋本店隣市場前

3|割賃車汽

音野町電話穴二十四

上品なサー 一圓五十錢迄

ル 秋の の大改築と

社會式株泉鑛酒事本日 元章 ルービンオニ

(可國際便郵種三第)

(日曜木)



一日本生娘處女サービス一年新品級親切なる大衆向 日本生娘處女サービュケ給は絕對純眞なる

> 大 連 町







皆様の御越を雙手擧けて

主婦始め三十有餘名の

女給が

お待ちしてるます



11









日

嵯峨廣東へ

は今回左配の好くは今回左配の好く

規定がより一層至鍵 の規則改正に依り である。

◎注、この規則は従來全然なかったものである。 たものである。 たものである。 たものである。 下の高さで投げ入れなければならない、而して押かに入れるこさは感要さする。 らない、而して押かに入れるこさに制限はなかったが、改正中さに制限はなかったが、改正中さに制限なるに勝から下さ云ふことに制限なるらうけたものさ思惟

できこさか名加入戦艦に通知もた ケデュールの下に適宜試合ななす ケデュールの下に適宜試合ななす

青島支那學生 抗日宣傳

ラグビー

則改正

日本ラグビー協會で

6

近く所屬團體に

通知

の注、センターがボールに違い側の足が用ひることは反則では 切の足が用ひることは反則では ない ない たのサラムサイドで剛足さも

事態がく緩和せるため三十日午前の事態が変に驚つた軍艦総成といるにより置まから哲医へ等を表して事態があり、 署では通關、運送の便宜上一般経一住民よりのな問義

の取締を置にし、殊に日本人でからの抗議で張行政長官も極力それがのからの抗議で張行政長官も極力それがの場合で、一次に日本人でソート、ロッア人に対する役割というのない。 漸く去る 在悄邦人歸還

慰問金は州外に

長春間

哈市の不安

谷方面の慰問に

ら取扱ふさ

ス関立職場オペラ・コミーノに出演う・ヴィー・ド・ポエームに出演う・ヴィー・ド・ポエームに出演する事さなつた同職場に日本人の出場に始めてどある

六大學リー

が、十月一日には完全に開通する が、十月一日には完全に開通する

ウェート・ロップーをあげついるというないのでは、一つあるから不安も一様し長春へ迎からであたハルピン在世界人もおいっているというないのでは、 とてその任務に就いてゐるが。

4

對慶大野球戰

明大勝つ

で開始部局四野一で膨胀した閉臓は卅日午後二時廿五分明大髪疾患十五分明大髪疾

井野川(捕手)、慶大水原(投手) 同四時十六分

のが出動軍

敗兵と二時間

守備隊交戰

吳家屯で五名射殺

たいます。 大にまずまったので発掘され食中 は保護する質包及び人質を放ち東 は保護する質包及び人質を放ち東 は保護する質包及び人質を放ち東

断軍隊では引揚げが何時になる満の職をは既に目前に迫つたが

施く落付いたためせ 観道部長名を以て二 観道部長名を以て二 で常

および職に通

0

ター・シベッド 東

電四四六三番

翠草

本

日

御大

用御寄御

を宴鍋料 會其理

に他と

ち曾 利小り席

開

御料理

理かみ

ひら

八八四一番

11

酉

0

0

扱手配狀態は

秋か来ました

嚴多の分宿も準備中

朝顔旅順歸港

| 東京三十二番|| 松瀬山南 首根の | 東京三十二番|| 松木麻名に保る公地は十一月 | 二、四、六の三=間東京地方鉄地 | 大の三・間東京地方鉄地 | 大の三・間東京地方鉄地 | 大の三・間東京地方鉄地 | 大の三・間東京地方鉄地 | 大の一・一月 佐郷屋の公判

十一月初旬開延

吉野町の小火三十日午

開店披露

\XX

募集

イター

(規則計郵券二錢)電話B

始歌米有名化粧品専門 が ブース 會社 英國 ギーブース 會社 の ・ ブース 會社

一二町勢伊達大 掛九五二八話電

。屋

本本

市外石道街

员人 場馬ルトクド 院 江庄锡馬 八七五八話電・話橋盤常連大

二六〇五三二十二二

興永囂 八五四八

に然て左記十年職績更真の表験式月一日午後二時から民政器貴歌至 勤續市吏表彰

今後共皆様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます。一个後共皆様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます、何分不行屆御不滿の點多々御座いましたでせうが取込中の事とて充分の標の御厚情御愛顧の賜と深謝申上ぐる次第で御座います、何分不様の御厚情御愛顧の賜と深謝申上ぐる次第で御座います、何分不得を様名位の御引立を得まして連日盛況を收めました事は偏に皆多難なる時局に厚顏しくも藏ザラへ大賣出しを開催致しました處

禮

電気三十日数 東京管室標物館 「東京三十日教」東京管室内省は三十日皇室会 た以て臨時職覧地置の体を養表したが同館は十一月十一日を以て地 帝室博物館地鎮祭 がいまする 製造する 製造する 学 学 学 行行 を 学 学 行行

本競の緊対機器上勝川教育は十月本競の緊対機器上勝川教育は十月 八十圓、十二歲未滿三百圓 青年號の勇士

酒渍 1 4 8 水各 青クサヤ 界各 果京風菓子謹製 地 8 酒 ぜ 충 食 座みのこ京東

料 (八聖)そし青煮佃椒山 00

皇后陛下 傷病者をいたはれよとの御言葉 繝帶を拜受して杉山次官謹話 御仁慈

は避難のため混働してゐる『鐵嶺電話』
は避難のため混働してゐる『鐵嶺電話』
は避難のため混働してゐる『鐵嶺電話』
は避難のため混働してゐる『鐵嶺電話』
は避難のため混働してゐる『鐵嶺電話』 公走支那兵到る處で 公安隊は逃げ無警察狀態 」を虐殺 り一般に開放されること、なつた吉林長春間の通信機関は三十日よ 通信復活 長

安否氣遣はる二千餘名

八婦女⇒虐殺 時三十五分養にて最後の大部分は、い時三十五分養にて最後の大部分は、い時間の平定をみたためぼっく

| 百四十名の支那所兵襲死し、同ししな声殺したるものにて、枯事性||報西安大を癒の邦人婦好感器の||地居住内地人の彩景に強入、手筒| 西安縣長が日本側に謝罪す

我領事館の國旗に 反日團が盛に發砲 命からん 田中鄭州領事語る 1虎口を遁れて歸つた

則グラウンドの廣場にバラックな

平常通りに

通、貨物は遅延承知のもの(線へ吉敦線を含む)旅客取扱

青空澄み渡る

魚谷の造花は何日も 満々として居ります

大連伊勢町通り 魚谷造花店 電話ホバエ七番

小盗兒に悩まさ

院醫原相

貨物取扱

連絡線の現狀

東十五名臨床の結果。 を対し、大田町の中華や生物である。 では、東するに至らす留日や生き、八十名、際 では、東方ものも、八十名、際 では、八十名、際 では、八十名、際 では、八十名、際

問袋を取扱ふ 沙河口署で慰

用支各地の排日

選するさころあつたが事態も

林小學校もけふ授業開始

國立劇場工 出氏が

木氏は懲役四ケ 懲役四ヶ月追数金

原役十ヶ月追覆金六千五百剛 前代議士 瀬川 米 本多貞次郎 高村增太郡

東京市疑獄の 判決言渡

簡易小兒保險

中月一日より流州も内地同様に左 第五十九曜會で小見保敷が通過し 一歳以上六十歳に限られてゐたが が通過し

戦職が基常出身で日本語は城/ 戦職が基常出身で日本語は城/ で二流を冷びた、しかし幸かん。 幸か急所をそれ、目下神殿地の 幸か急所をそれ、目下神殿地の を からなからない。 日の地位を得てるたが気媛子戦 で一流を冷びた、しかし幸かん。

田浦・東支 旅客貨物平常通り 大汽、商船 旅客貨物平常通り 大汽、商船 旅客貨物平常通り 大汽、商船 旅客貨物平常通り 版客貨物平常通り 沙河 74 ス運轉 口

らさ附属地居住邦人は夜

懸賞尋

真正

獺。

養

健康增進

仙

(松の翠)

大連市福納町二二(福納町電谷北人)

数年前七時四十五分で列車の養着 毎に十六年後するこことも、賞金 年に十六年後ずるこことも、賞金 年前六時世分終養午後六時世分 後午前六時世分終養午後六時世分 が平島始後午前六時世分 那人には軍隊より利く職は全く

地内居住の支那人は何んでも楽学、他へ居住の支那人は何んでも楽が歌の人が増加し、砂郷

供し数ら殿時状態になつたさはいへ日支人何れの方面にあって も食糧説の触えなざは変態しないのは漏がに秩序の維持が完全

ス眞 大連市對馬町六三番加聯方 沖森レ看本一

咽頭頭 プセ 经 院

東京 大連沙河口黄金町 〇五大連沙河口黄金町 〇五 波 吉

機關雜誌大連語學校 號 內 第十一 坐

治

眼

は本日岳陽丸で日本に向ひ引揚 在留邦人婦女子二十六名

支那學生協議

【上海特電三十日登】各地の近況

六四四八四つ六

頂ののののの

輸货

入群

薬での

虫

を安急

サント

ニン

Edgta 店商吉友澤麗

も一瞬と微環はなら連れ出さないさ危険

満口社印刷所

VA OT

必ず一箇

香味快く口中を

かにし一般を消く致します

複雑用中形チューブ入 一箇 金十 銀

3

廖

★ を有し、監督の発防に対かあります。 を防ぎ、口腔の防路、消毒及び制酸の効力を消費にし、歯器を収飲し、口中の闘闘

て職太三が散を出した。とかし、

英語獨習の好機
一次語獨習の好機
一次語の影響をうけて、必須缺く
一次的らざる條件である。何人も一
一次的らざる條件である。何人も一
一次的らざる條件である。何人も一

專賣店 定

笑黑然 堂屋堂 藥藥藥

房店局

岩

が認めるさる時は残棄引替に代金 大連市監部通・票性用五圓、 電話・二次中部第四十二 大連市監部通・票性用五圓、 電話・二次中部第三 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 電話・二次中の 一一一〇番 一一一〇番

送料不要代引二十五錢

州金待新兼

澤の

來庵

漬 \$

カジ

12

衛鮮總發賣元

九六番場

7

連石

る信頼ご好評を傳せり、質協を変さして調劑せる古来

満洲代理店

許傳野

間清治論(統

二滿三日

五臨六

七時

九基

一志 盂 共 屯

の唯一つの窓だけが――昨夜マリッすぎ、洋館の機にさまよって行つすぎ、洋館の機にさまよって行ついかおろされてゐる。しかし、三階

\$ 4

株 園 C五 おけみが日本館の庭をめぐつて きがふれたやうに銀の殿をあぐつて 実館の門内に出て見るさ、駐三が まがふれたやうに銀の殿を打ち叩いてゐるのを見た。薄い様なしシャッに黙いブボンをつけ、髪を撮び 今度は花たねつて力まを打ち叩いた。類といいた。 を打ち叩いた。類といいた。 を記を観はせる。とかと と窓を観はせる。とかと とったく肚三の前に閉じ とったく とってもあけ

「親父、剛太郎、跳」 された幸福か心の中で脱職してるっな種のやうな父の手に低敵が遊嫁女は指いこの兄の手から、悪ら 「開ける、開けないさ、

三の前に閉じてゐた。 し、原は今

大放送

連 JOAK

◆午前六時三十分各地相揚ニユー ◆午後○時三十分各地相揚ニユー ▲午後三時三十分各地相揚ニユー

時五十分

私志

されずちろう、たつこち出血が痛なら専門家侍のみくすりなら病気は若にはせぬや備前の岡山生れ

いっこ ち出血 ちっ痛

|||辻利

食料品

部川

一封度入牛封度入が着しました 鑵、黄 鑵 の

| 一部類 | 工統杵屋六花|| 一部類 | 工業 | 一部草崎|| 一部草崎||

京

一見料置

神病消渇に此の名薬あり 本病消渇に此の名薬あり

京子術技再祭成子标·遺传入之意者のする人である。 一大連市西広場(近明書無八進星) 大連市西広場(近明書無八進星) 大連市西広場(近明書無八進星) 大連市西広場(近明書無八進星) 大連市西広場(近明書無八進星)

洗洗っつ

するときるいか

(入瓶體液)

十四二

御家庭奥様の御嬉び

・込區原町三ノ八

リプ

1

1

紅茶の

其名是語話 電=

勞せず、

下痢を起さず、

費用催む

にて充分、

臭味少く、

胃腸を

是進書い説・椒文

一日の量僅に茶匙に輕く一杯

大衆的理想の滋養强壯料なり連續飲用に適して、費用僅少

松培地より

一直線に

(N)

河

野想多

書潮

(65)

製創氏郎太體合河土博學藥

啓學諸大家質驗推獎 時許

堂里階地店街自東港町速浪

川辻 利 茶 店

さ十分の一、普通の肝油

大人極大量でも

即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虚弱即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虚弱を養養、精力減退、老衰、神經衰弱、其他特に榮太 人一回十五乃至三十濟道病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他結核性素質を大 人一回十五乃至三十濟道病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他特に榮素質を大 人一回十五乃至三十濟道病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他特に榮素質を大 人一回十五乃至三十濟道病、腺病質、殊に肋膜炎、肺尖加答兒、其他特に榮素質を大 人工 一般榮養不良、虚弱即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虚弱即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虚弱即ち用量は滴数による 内外特許の理想的滋養強壯料にして一般榮養不良、虚弱

定價 百瓦入 一燥 金一面二十錢

別の 長等に無き時は不健とり 彼也で、〇ミツワ石絵本語と、一般に無き時は不健とり 彼也で、〇ミツワ石絵本語と、「他の、一般ない」

大連市紀伊町五十五番地 魚重輝強油油油 サ車石 體元 8 商店 油植機類物械

東京丸見屋商店

表。 作用到商引

MADICERIAL

鑿井試錐工事應需地下水の調査鑑定 電話六五四四番 業

ルセル石輪同質の優良品にして使用歪って軽便効果値めて領大な1

無くべからざる必需品なり 毛糸、毛織物、絹物の洗濯に

L.60

鹼石ク

所石鹼韓式實

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFG.C.CO

大連日華自動車講習所

に時間貸練習もあります 低 廉 且 つ 分 納

目下公認請願中

を放う

一人の

一への

一への

一への

一の

一の

一の

一の

募

を連續飲用し難き場合頗る多きを慨し、苦心研究の結果認に本品を破脱せり。肝油の効願 著 しきも 然も其如何にも飲辛きと併せて胃腸を損じ易く、必要量肝治の効願 著

帝國發明協會優等實受領際東京博覽會優良國產實際 0 一〇二 油川県海

に相富す

濃かった ライタミン

に努めつきある、町ちその都告の 出し人心の娱定を瞬り治安の維持 出し人心の娱定を瞬り治安の維持

經過報告のみ

で借らず

か、一人も知らないここよ。だも 「あたし、窓一さんのお友達なんか。」 かぶつけい ないここよ。だも 「

の好きな人なんかありつこない

てもしか、他の人とは一般

佐枝子は傾かしら、

本 校

ないか、つて録がさして來

陸相閣議に報告

北滿の支那要人

熈氏の獨立宣言に

新長官布告

奉天兩銀行の開店。體

廣東派依然

態度變

3

は、敷備さんが嫌びなの」

「遠ふわ。遠ふり」

察一さんは、現が不幸になるのを「際一さんは、そんなつもりで父

政府の手を借らず東北自身直接日本は連日會議を開き滿洲事變の善後指

「さうかい」

外交委員會主張

に密使を派

であたしは、数値さんが乗びなんであたしは、数値さんがからがなないことは、はつきりであるないことは、はつきりであるないことは、はつきりであるないことは、対域のなんである。

見て居られないからなのよ。

共同調査提議か

條件を固動

社ご覧」とと な特別で連動に関し政府は既定方。 な作品でも表現首相は高洲獨立 の定体限制で若規省機は満洲環営

獨立宣言に

新吉林省長官の通電

で離れ新に省政府を震立し智慧を継続が最中の立場においてを開かる。

主なる顔觸

奉天における新政權樹立運動

漸く表面化し

し來る

(権樹立の機動)

滿洲事變ご 英の輿論

整橋を勝き日本軍の執れる感染を 松窓甲のアメリカ武館は甘九日本 然なるな承認してるたさ、率天のたさ機と呼れも我軍の處置の

報告書掘出灣の國

南京廣東の代表

各代表和平統一高調

中東部間に本倉議を開

佛兩相歸國

陛下入御あらせら **唯の件** より風條約総結に アニア國間の通

リン答話を終へて瞬間とた 朝鮮運送增資

を宿つた

 概選集速行意見に決してゐる立場 電場批人は無事方板に譲殺した、 内盤確陛下に最近の既默を上奏し 準度顕道は依然不通 を対下院の責任ある館では政府は 線は既に列車運転を見、準龍が館 たが下院の責任める館では政府は 線は既に列車運転を見、準龍が館 を対したが下院の責任のるが吉海 を対した。
 にが下院の責任の方には本日午後参 準度顕道は依然不通 前の定価重複會で決する智可見法である間これが決定は總會 豫定であるが継償金十七萬側に現 三次増資額會はオー 三大塔登總會は來り中旬頃開催の『京城特園州日鑿』朝鮮選送の第

吉林逃亡兵

學良氏の密偵

奉天で暗中飛躍

英政府總選舉

意見

復歸困難

田本軍の動態に就いても極力機数 に機能の目を光らしてある、またに際で活躍中であるが、反場お よび親日の軽人元老に難しては特 とで親日の整人元老に難しては特

題に關したの姫く記明した 懐を得る事歴職なるべしこ報じ又十九日の常懶騰騰離上嵩洲獨党間 の直接突流を拒縄すれば内外の同【東京二十九日餐】 幇幌能様は二一イタイムス紙は若し中國が日本こ 滿洲新政府樹立 日本側は關係で 石槻首相閣議で言明

ロンドンタイムス紙は南州事代に 動が支那側のいふ起く日本の監検 動が支那側のいふ起く日本の監検 | 用する事を残めてゐる 日本の處置は

米武官の意見

年休止案

母は父の部屋を氣にするや

云はふか、云ふまいか、

あさで

一家じながら

意見一致せぬ情勢

國の政務を の政務を の政務を の政務にあるの でイタリー協唱 でイタリー協唱

十九日各自獨立を宣言し張學良氏の羈絆を脱し皆己忠態の安全を職るに決した『奉天電話』に頗る不利なるを看取しこの際自己の態度を避む呼く考慮中思 洽氏の吉林 臨時政府設立に刺 戟され二党脈脈の離職に使ればヘルビンの腿罷寒、熱呼の激衰羸の厭氏は萬福林、鮑文越南氏の南京行の結果が張學良氏

熱河省の湯氏も獨立

總本店 達さか低さかし

愛蘭銀行も引上げ 一では、現がさう思ったこさなん 佐梭子は笑ひ出した。 佐梭子は笑ひ出した。

り戦争する旨二十八日公表したり戦争をは五分学よりかのでは、一歩報上げ六分学さも二十九日よりないのでは、一歩報子のでは、一歩報子のでは、一歩報子のでは、一歩のでは、一分では、一歩ので

り返しもつかないへんなこさ

何か、第一さんにだけ話してあ 「寒」さんさ、喉か絞束で うなこさはないのかいし

思ひがけない母の言葉だった。 い遠慮がない値だから、これに、佐枝

戦事長から端蒙が爺におげる我軍 午後二時半から幹部會を贈き山道 に関する。 民政黨から なすり付けるべく陰謀を企れば素天に在上の外人に危れば素天に在上の外人に危 さら傳へられてある「奉

李鏡職氏が取扱ふ事に決定したを鏡職氏が取扱ふ事に決定したとなが部長の事物は當分が突べ長の事がは當分が突べ長

經過良好

第二の反抗

(45)

ABCの讀方

B

す

書子

STATES OF THE ST

王外交部長の

第二十九職隊本部は二十九日夜九 第二十九職隊本部は二十九日夜九 奉天に引揚

第三十九族團 で延期することとなった 第五十九歳會で小児保険が通過と 簡易小兒保險

は一個大学のでは、一個ないいでは、一個ないないでは、一個ないでは、一個ないないでは、一個ないでは、一個ないないでは、一個ないないでは、一個ないでは、一個ないでは、一個ないでは、一個ないないでは、一個ないないでは、一個ないないでは、一個ないでは、一個ないないでは、一個ないでは、一個ないでは、一個ないないでは、一個ないでは、一世には、一世には、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世には、一は、一世に 菅原總裁來滿延期

由の他なし【長春電話】

英語入門の好機來る 畜音機貸與・酸語レコ 英講」は「井上」!! に依る改版内容倍大 ・ド贈呈・ 新中學令





速馬者海のな 門衛朝 3

人阪屋號書店

福 注 鲁 目 隆 速大店用

和辭典贈呈の特典あり 別冊八大附錄 吉林の極端な排日に

日本國內委員會回答

我軍隊移動

時二十分養

財子が國權の經過でもれつ、あるは 選回の事迹に際・陽下並經下諸 選回の事迹に際・陽下並經下諸

時二十分發

巾長詮衡委員に

非難の聲あがる

各派譲らずいづれも小田原評定

表した。一般では、この歌的を登録したる決意を記せての歌的を登

る事が合理館であるといふ結論

成取らないやうにす

学で方が、理下社會の販應から解離のない複問機能の料理

那門稀、田馬科芸を撃緩に発行の那門稀、田馬科芸を撃緩に発行の

市政公所囑託

て畚稲共前脚門栗を終了したのでつた大連路撃後では九月紀日を以電線膨関下の酸袴舎に階被中であ

市の東新も七八十銭安に引けた地市場の東新引際軟弱を入れて

役此井却一郎

學校生募集

東新九圓臺

市

に沈白十七

は今もなほ考へてゐません(滿間ななめやうさいふこさなど はないです

大部より窓大市致外所機能 た記六名サ九十架(近せるが 機筋課 阿郡 太郎 財務課 阿郡 太郎 財務課 松田 進 門野 要三 工程課 神原 金蘭 佐藤 道 金蘭 大郎 金蘭 繭座談會

八豆反落

ず

九時間育己た『世界』 勤續市吏表彰 の新築溶成さ共に復業の であるが明春四月伏見臺新 の新築溶成さ共に復業の ひ新祭

大連市役所では市政記念日たる

◆定期後易(県山)

常記加納節維▲巡視高木範一、 加輕義長、龜里長十郎、定村小加輕義長、龜里長十郎、定村小 市、本田貞喜 ◆書記補海野景盛

質に難にてい 邦人保護のため軍隊さ共 問袋を取扱ふ 行森が製菓會はでは在省

虚弱兒保健座談會

八五

一四六〇

標金保合

海標金の保合を眺めて雷市變を ◆定期取引(單位錢) 當

一十時者列軍にて沿線より歸口定條氏(滿鰀副總裁) 廿九



•內容見本進呈•

○英語讀本辭書 が結マイ・フレンド 英習字手本 英和辭

0

11

會員募集

國際商業會議所の照會に對し 誠意も効なり (=)

東四省の自治

我東北民家因於軍 關暴政之下者已經十 加空此北 中此種為暴動力已經一樣 友却官民

に強感態度を執るべく趣趣すべーに強感を動能の響『奉天電話』「無電と政府及軍電局に踏懸穀熊」に概談會を職能の響『奉天電話』「天市民春志は此際全産類人大會」く一日午前十時将天商工會歸樓上

至滿邦人大會を開い

我當局を鞭撻

する

機能的にたが窓に意見機よらすその を機能したが窓に意見機を近けまた会 の適低者の中から最後の一人まで を機能したが窓に意見機を近けまた会 を関するという。 を関するという。 を関するという。 を関するという。 を関するという。 をしてる多数 という。 といる。 とい。 といる。 といる。

こよ難まる学がない、事質経験をいのだから今後幾回倉でを重視る

後四回に湯る委員會でには温れた切らも現象

、決定か見な

には国れた切らし理経館を

けふ奉天有志が協

して現場の警戒に急

【本天電點】

わが斥候

物別れの 形さなつた、福 するから 不改正な まってめるから 大変は食で今まで下脚に上つた臓 特色したが、可いから知れないと ぶれは一部倉賃に持ち出され伽藍 共頭する者もあり、市政政大の機 共するに至らず、何れら遊伝したが、可いから知れないと というが、何れら遊伝に ちれてあるから 横窓岬形を終るで 南山東するいみ風に蒸着し卵に新顔を あらう

叉比鄉民館局 解决才策討論會

我軍では歩兵一個分隊に将校を附ったり支那院残兵のため我が軍さ

鄭家屯

『お手盛

り旅行』

世代及び饗養は那人強屈さの電質を を受け附けのこことなり後来受波 を変がにて時のでは、一般である を変がになりまり日本人の処理 を変が、一般のでは、一般である を変が、一般で、とないでは、一般であるが を変が、では、全で、とないでは、一般であるが をする。 を変が、 をするが、を変が、 を変が、 をするが、 を変が、 をするが、 を変が、 をするが、 をできるが、 をできなが、 をできるが、 をできなが、 をできなが

▲八木開一氏(流鐵秘書役) 副總 裁に同伴同よ 裁に同伴同よ 大り來連

本政氏で大連華商公議會々長し

慰問使出發

皇姑屯方面は数日來土匪の集隊地

三十日襲』元織相費族三十日襲』元織相費族

井上国四郎子の意見

後三時 が七十八 でおいて我が七十八 において我が七十八

職隊第三中隊

父易所受渡し

日本金を使はぬ

上海金融機關の排日

感激の斷片 東北紳民時局解決委員會の布告 五百旗頭佐一戦線から歸りて

日支衝突事變のなめ出動中の帝國一軍人ならびに警察官

中國銀行紙幣

沙河口驛へ

バス運轉

愈よけふから

邊業銀號に送付

るこさいなつた

| 政人機理すべく準備中であるが騒
| 長には字歌氏(機嫌長)を挑撃の響

出來高{銀對金 三萬八千個

商

品

観しなった

まり小本島線バス時間は無不職始 は五銭均一である、また十月一日 は五銭均一である、また十月一日

笠原、野本兩氏は辭退

をもしまがには日本人小學校の動地にままして人工といるた。 をもしまであったさいふ、种様の不法 をもしまがに難せさなってるた彼等は をであったさいふ、种様の不法 をはしまが、一般であったさいる。 をはいる。 をは、 をはいる。 をはい。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはいる。 をはい。 をはいる。 をは、 をは、 をは、 學校への往復にもビク

まって日本の兵士薬に製っています。 まって日本の兵士薬の関係を心から受けてるだ、無く、一大の最によだ小學校にもあがら同様でも際によれてあるが、同様でも際によれた必要なはいくらの兵士薬の関係を心から受けてるだ、無く、一大の母女はいくらの表生、一大の母女はいくらかがらこの東川の東大変の関係を心から受けてるだ、無く、一大変をなした場合には一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変をなった。一大変を表しため、一大変を表した。一大変を表しため、一大変を表した。

ものである

五千萬弗を削減

米海軍豫算

驅逐艦六隻起工延期

千萬弗から三億六千萬弗に酸減す」は起工を延期する三菱表した。 8年のカニ三年度海軍費を四億一 を許可された臨逐艦十一壁中六野のにフーヴァー大統領は敵戦衛に 憲軍長前アダムス氏は今年度起工るやう命令した、なほ形と同時に

(印刷服) 社

股銀行業務確實之 大連市西通 大連市西通 大

資本金



チエモトは金兵衛に鐵砲の造り一度いのちやがし

日 ~だしからおれだ



美味しく戴ける きんさん』こ『ご飯』 かにかきまぜながら、ころりで照ったりが出て繰りが固らない中に火か

望ましいお子達の學校辨當

はお つて大きさん違へることは甲すま 里平肉をぼうかった でもありません、たにこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません、ただこの標準が でもありません。

対対対 分量 蛋白 カロリー 大学粉十五匁 他に抜粋草、没 小学粉十五匁 他に抜粋草、没 小学粉十五匁 他に抜粋草、没 **養草の海苔巻**

肉其他の



新型八種を進呈



出産から誕生ま 手方ちやかしの を病のの で気の で気の である。 い繪入で發

の

のでの大評判









人院隨意

大連肛門



店理代總袋足やちつ

本行洋連 二〇六 長話電



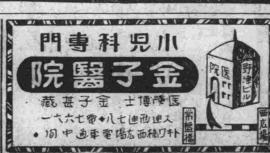












人會の活躍

事變以來公治衛

連を出数して運命の網は送らに彼りからないので更に吉城の知人の語にかないので更に吉城の知人の語になりせ七日大

からないので取

したが前地は既に大

守備隊の凱旋

民は今日の日を如何にして壁の様といった十名である獣民の壁を発さしたな状故が脚一年間の響を光苦は水をが破りられた

男兒の志る空し

遙々滿洲にやつて來た

軍隊を慰問

青いルンペンの行末

暴虐の

限り

部落に押しよせて大掠奪

婦女子を人質に拉去

到底及けず鑑に第一家はある

敗殘兵馬賊化

をある期間内銀術でなすべし大 (根金大百七十萬個位)のラギューは其16年

一が経天の大銀號たる「電銀號」 一が経天の大銀號たる「電銀號」 「漁架銀行」等は表だ際店に至ら 「漁架銀行」等は表だ際店に至ら 「漁業銀行」等は表だ際店に至ら

世代 七十名の 医心状 で表現による。 では、こうし名部家を売しつ、あった大小の脚眼では大身販園の繋送 が使入し現大洋六十元を選挙選走 でたとがため我軍の一個小隊は直 際 したとがため我軍の一個小隊は直 際 したとがため我軍の一個小隊は直 際 したとがため我軍の一個小隊は直 際 なかつた 鮮農達を護つて 邦人悲壯な決意 八棵樹に危險迫る

來た餅息の質話をそのまとで六人あつた――さ最近歌

不安な北寧線

慰問袋を

發車時間不定

軍隊に贈る

が類々さして突發するため危險極 と の響飛手簿に乗じて多吸の服態事故 出窓し殊に過りの列車轉復乗客の服態が はっちょうにある 関係で同源線 と しょうに は かいま は いいま は いま は いいま は いま は いいま は いいま は いいま は いいま は いま は いいま は い

じて睥睨の横行盛なる北雲線一帯

脱兵が横径し器で掠撃数多の影響。 上し悲聞き難も安全を認めた際養

悲惨な鮮農

避難鮮人八百餘名

一般に

「大力」

「本で、

「大力」

「大力」 車せしめるこさになってある之が

者追悼會

く來會者多數 に於て滿洲事場

暴虐な兵匪の非人道的行為に

漸~重大社會問題化

に歩武職々さして守備隊に向った 民多戦の出班へあり萬巌聲神の下

武装解除したる練軍艦の態長以

營口治安維持

電報出 総山時局委員會では二十 地間であれて、ある本庄園東軍司 がで、多門第二師側長、森・倫底 がで、多門第二師側長、森・倫底 がで、多門第二師側長、森・倫底 軍隊に慰問状 十九師を搭載し、一般山地 戰死者追悼會 老母 数にて盛會であった 日午後四時から禪隆か 日午後四時から禪隆か 日本後四時から禪隆か

で派布教使深襲九

中部村地

のにて支那側に一層連帯治安の構 神を喚起せとむるに有効なりで認

自警團に長銃

轢かる

禄往來

元素が採の大いない。

豆豆

お良いと云ふので含銀自駅を使ひって それも織つばなして居たりしたも のですが、質聴権

艾

が脚毛しまして、其上へ駅起し、 葉によく附着伸しますから、天へ

を一蹴に薄く引きまして、それか

まってもかが無くて、そ ・ はではて含品的経 ・ はではて含品的経 ・ はではて含品的経 ・ はではて含品的経 ・ はではて含品的経 ・ は、といふのですから、。 は、 本に要り、 自動立がかうパッチリト ・ は、といふのですから、。 まで、 本に要り、 自動立がかうパッチリト ・ は、といふのですから、 また。 本に要り、 自動立がかうパッチリト ・ は、といふのですから、 また。 本に要り、 自動立がからパッチリト

なにでもお化粧ができます優れた。全く申分の無い化粧上りに

稅捐局撤廢請願 安東附屬地商民起つ たのを験見とた時無強い彼も全く 大型変態とたそして砂車が二十八人 の戦入は全部歴史個人の所得でいれば一般指続は張學良べの直轄にして りつ、何れも健在で を表していても なな、整地に於いても なな、整地に於いても なな、整地に於いても なな、一般になる兵 ないでは、一般になる兵 では、一般になる兵 では、一般になる兵 では、一般になる兵 では、一般になる兵 宅慰問 を開門したが答案庭 部隊の 衣を募集

(四)

ので要所の警備を脱にし警防に発
十名の膨敗現はれ南進を開始もた

官兵三名資傷

匪賊團ご衝突

六 和

振び歌の雑願送職後萬の中國労働 い野報の処く流鏡社定が高銀武会 い野報の処く流鏡社定が高銀武会 というないでは、大英國の金本位献が乗返

が拍去されその所在全く不明であ

白衣命を奪ふ

時局ナンセンス

拳銃强盜侵入

全部を徹底的自供

日常必需品

金銀兩替停止の恐慌救濟の爲

撫順炭礦當局の對策

年

月

生命は取止める模様である 日本天に 着するや足を織肉が配っていたそして彼はホットする間もないたそして彼はホットする間もないたそして彼はホットする間もない。 したかくて満洲の土 遼陽部除慰問 曹通粉化粧が好いとされて居りま に成りましたが、此洋髪の折には

には、作用が緩和で日本人の肌

で化粧しますか、或ひは

サーワグアニシングを失い

付けた事が分らないで、色白に見ず際に擦込んでしまへば、的粉を

サーワ肌色粉白粉を刷付け、之をクリームの少量を繋込み、其跡へクリームの少量を繋込み、其跡へ

固煉白粉

面へ、押付け無味に聞いて行くの フ焼出粉を利用致しますか、たはでございます。そして脱脂総か便 場合に佐り火好みに従ひます。 文簿化粧の方が自然らしくて好かで之に濃淡なつけ、牡丹刷毛で 又薄化粧の方が自然を利用致しますか、たは

◆絶對無鉛で地肌からの美しさに

◇附着よく伸よく、

剝落ちぬ自粉

0

洋風北。

贈呈し同夜北部の らの謝電 戦死者遺族か から長春に出動中の 松木、西田の ち様、頭筋から胸、また原手所脚 も良く洗ひ火整へまして、滑かに ななに変して置きます。それから ミッワ石鹼

ワ白粉下

関のが着で

なく概合せ、満く伸びたところで よく概合せ、満く伸びたところで 療込んで、其跡たが ワ頰紅 カーセか糊を

申す近も無く、耳朶、又縁元へも神でとしばかし込んで、それから粉

ワ粉白粉 鼻を中心にお顔面 ッカガが、





種。化粧法 坂東 簑助

が自然を、叉礁の方へはサーワの肌色 面一面に塗込むだけの化粧下です 土台の地肌を作るに作用の緩和 知つて居ります若い好の人達の

覺

先づ十人 現在のキムラの姿は本年限りで御座います來春より時代に順應し大々的改築を 得る為め名質共に満洲首都旅順の名に取 の本ムラを活目して御等と出現せしむべ く只今考案中です其時こそキムラの晴れの姿を を布き活躍致す考で御座います何卒來春 を布き活躍致す考で御座います何卒來春 を布き活躍致す考で御座います何卒來春 を布き活躍なす考で御座います何卒來春 を布き活躍なす考で御座います何卒來春 を布き活躍なす考で御座います何卒來春 喰べ放題

人自 賣及 修

六助の文郎五津三

かはできか、或ひは睫毛等に附いた利用しまして唇る

ばな指先へ巻いたもので、生際と

田村商會順支店 電話五一〇番 理

又粉白粉を布に附けて爪を除けに除れてしまひます。

意して掃除致し度いものですが、 サーワ白粉は不思議なほどキレ

では、カーワロ紅 を通信に かってる 自然も注

店

町葉青市順旅 商野 看六八一話禮

質に效果の魅るものでございます。
に激込んだやうに美しく沈んで
肌に激込んだやうに美しく沈んで

------- 店商の等吾

外の服洋紗羅

雜

た寄立御度一たしまめ始た いさ下較比倒な段値で物品

文或ひは、一月 文或ひは、一月 で

一度叮ぶに附けまし

吉

商

快氣祝ど ロ御使用下さい 安全經濟便利石油厨爐とアルコールコン 進物品 御返禮品御返禮品

で、肌膚の美しさを一倍地するの をで状態りますと、髪りの自物が なって状態りますと、髪りの自物が なって状態りますと、髪りの自物が なって状態りますと、髪りの自物が

品質特選 多少不拘配達迅速 旅 順 驛 前 月見農園賣店 電話六二〇番 旅順市月見町 見 農

舞古手の丈助雙 なさるが宜しく、何い 備この洋映の私の化粧には特に 面にふつくらと柔がみを出しまし 通し度いものでござい

フ肌色粉白粉

それから興室開闢は勿論、着用の評別に依つて、肌膚の部分を発しましては常然ですが、一個での化粧としましては常然ですが、一個では粉を心で薄めて、紫脚毛での焼き粉を心で薄めて、紫脚毛で

生ぶ洋日リ み

本ん 髒う梨梨ご

旅 順 商 店 內案

エーヤコンロ發賣中間下好評の木炭使用目下好評の木炭使用式調達品では、
和出産税ト御級禮品では、
和出産税ト御級禮品では、
和出産税ト御級禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税ト御返禮品では、
和出産税トの表質中に、
和出産税トの表質・
和出産税・
和用産税・ 具世 一 完 道 方

商店

公費滯納整理

はその名称を捨て走の慰天衛に立れ着が殲立とて別価のものとなれ を対して別価のものとなれ

羅振玉氏赴奉

関う現在の遊響者の名称は安

大陸本部に對し既に引提命合動養児安東、安東川動中の新義州第二

運動會は中止

譲店 沙河口目拔の場所

門札が東京が入っ

此印に限るが使紙は

蕃

科醫

味覺の秋?

外森

店員 水談あれ 金属堂電四九〇五番

奉天の物價

平常に復す

警備區域を犯し軍用総切の関東日本軍隊の関

又復電線切斷

『開原』事選突養以來開殿附駅地の電銀就系及各機機は時局の搬大

瓜房店小敷校父兄會に左記の寄贈

在鄉軍人活躍

實印

ピックアツゴ

電四五五二番 養菓プバ市 一洋種ブ 条行

中 大連市美濃町二五世六六八八番 大連市美濃町二五世六六八八番 大連市美濃町二五世六六八八番 大連市美濃町二五世六六八八番

伊勢町大竹下商店電三九三〇 ・一般大第直ちに参上 神田 取 替 一般大第直ちに参上 第一般大第直ちに参上 第一般大第直ちに参上

秋風立ちて威胃期來る 発料品店にあり ・ 会本 一高 一合 ・ では に ・ では に では に では に に では に で に で に で に で に で に で に で に で に で に に にく葡萄酒を

中 -1010六電·五二旬野吉連太

| 波| 皮

胜

機番前電話へ九四八歩 音器 大連市岩代町十番地 電話八五九九番

八十錢より一圖五十錢迄(何一人前

花

一一一一一時間修繕 大連市武藏町七 増田貨物自動車運送部 増話七三七〇番 屋 大連市信濃町市場前

000

安斯安的的的, 安斯安斯安斯 一日本橋樂局 電話八三六二番 電話八三六二番 義先生創製 ンパロ西郷

質

生殖器障碍 开上醫院 尿器病 軟性下疳 病 治 開 始

泉温子崗湯

上品なサ 御日支 吉野町 ライオン

ピス

ちきやき 御料四ちゃきゃき ビスは断然大連一 御料理と

大連西通·常盤橋·西廣場中間電話七五二八番

えつライオンへ ルの大改築と 秋の料理の提

産 婦人の病は婦人の手 **東語三六六六番** 人醫院

記 念 同同 同 同 圓千 上 商品券 枚宛 十枚宛 發抽表 籤 五十圓未滿には金五圓及五 一枚進星

改名の計畫

新古 金銀白金ダイヤ時計高 電八二二六

滿八七番

家政婦(通過派遣

岡部紹介所

通關地通送

番三〇七三数

海南軍送 通關代辦

送部

父兄會に寄贈

女店 員募集年齢十五、六歳年 東連衛四丁目九七大職貿易衛衛 東連衛四丁目九七大職貿易衛衛

家博 お炙 博ハリ炙専門療院

電話八二〇三番

北文 (午前・午後・夜間)

大郎 電話六九四二番一葉町六〇

庫

小燈房水便 湯殿付、賃二五、 はいというというできた。これではいると

體育研究會

新市民運輸会は美養せる事態のた ・ 新市民運輸会は美養せる事態のた が、これな再開するや否やについ 特代を対象が耐まり二十九日午後二一代 時代を対象を重要した。 ・ 第一のでは、 ・ 第一のでは、

運動會は中止

十銭毎に補助福引券進呈 同 一月八日

お買上金五十圓毎に福引券

F 日より卅二月迄

社會式株泉鎮酒夢本口 元益豊ルービンオニ

皆樣

の御越

を雙手擧けて

主婦始め三十有餘名の

女給

お待ちしてゐます

(日曜木)

絶對高級親切なる大衆向 給は絕對純真なる

大 連奥 H





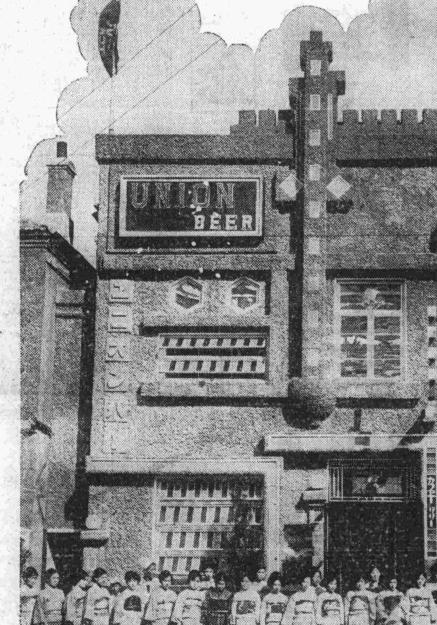












《東京廿九日發》香港在留支那人一

『香港二十九日登』香港の支那人

罰金二百五十圓

弦古

懲役六ケ月

高村增太郎 本多貞次郎

平常通り

魚谷の造花は何日で 満々として居りま

大^{連伊勢町通り} 魚谷造花店

貨物取扱

連絡線の現狀

懲役十ヶ月追徴へ節代議上

0

to

野役二ヶ月(執行 懲役五ケ月

切具のフィルムに

引火して大火傷

磐城町の火事騒ぎ

香港へ急行

合方面の慰問に

警務局感激

慰問金は州外に配布

守備隊交戰

吳家屯で五名射殺

敗兵と一

激してゐるが同局では右常附金は らぬやう率公の誠を致すべしと感 『戰死者を弔ふて 胸が

江口滿鐵副總裁歸る

は好轉するのではあるまいか、ちこれを機會によって日支関係が一般人に好感を與べてゐるかちこれを機會によって日支関係が見ない。

反日運

若しこの儘遷延せば

恐るべき事態を惹起

ふる

際に謝意を表するため廿六日夜天、長春、吉林、公主職各地の

施走した総職により鬼家む を襲い現大宇五百元、長続 兵五名を糾縄した、このため販職 を襲い現大宇五百元、長続 兵五名を糾縄した、このため販職 を襲い現大宇五百元、長続 兵五名を糾縄した、このため販職 をとして東が一里餘の英山子 がに逃げ去ったので飛載き擦査中 軍 をとして急戦により鬼家む がに逃げ去ったので飛載き擦査中 軍

長春に避難中であった吉林在常民 は時局の平定をみたためぼつ! 避難邦人歸る 陛下、御城城殿下さ御彫刻あら心觀との御祓宴を開かせられ雨

時三十五分骸にて最後の大部分は、時三十五分骸にて最後の大部分は、

な

地にて暗連したが艦中に訪へば語 地にて暗連したが艦中に訪へば語 がなってるた済緩鬱生態長金半難大幅 がは二十九日午後一時入港の率天 がは二十九日午後一時入港の率天

ラグビー 日本ラグビー協會で

古長

- 規則欧正を行ふこさにな 「、ボールを良ずし、 か今睡の規則改正に使り 「ない、而して靜かに通知ある 「ない、而して解かに入れることはない、而して解かに入れることな必要さする 「、ボールを良ずし、 ボールを良ずし、 での規則は従來全然なかっ 「なった。 である これを要さする これを要さする これを要さする これを要さする これを表する これを表する これを表する これることを必要されることを必要されることを表する。

孝宮さま御誕生日

一智學の中華學生は速かに歸

執行委員協議

國立劇場出演藤原義江氏が

流する事さなつた同臓物に日本 ス國立製場オペラ・コミー

着物を借市内沙河口京町 リて入質 O)は昨年三月廿 日同郷の知人たる市内大和町四一 三六佐藤キタG

其他 岡米有名化粧品會社 英國 ギーブース 會社

一二町勢伊達大樹九五二八語電

舶來化粧品專門

屋本店

決言渡

二木氏は懲役四ケ月

市疑獄の

歌

今後共皆様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます御奉性も申上げ得ず惡しからず御容赦願ひます、何分不得の福厚情御愛顧の賜と架謝申上ぐる次第で御座います、何分不様の御厚情御愛顧の賜と架謝申上ぐる次第で御座います、何分不様の御厚情御愛顧しいませた。 を後共皆様の毛糸店として御引立の程偏に御願申上ます。何分不得の福厚情御愛顧の賜と架謝申上ぐる次第で御座います、何分不得の本様名位の御引立を得ました。

酒渍 (6)

界各 酒 食 し青椒山 ス関え 00

近く所屬團體に通知

留日支那學生

引揚げを決議

艦隊碰艦等機は本川正午香港に入の排目形勢重大化の為め第一選外

奥地も相當の寒さだつたが御覽一の通り元氣で歸って來た

小災救濟は停頓

「大利丸も斷はられたよ」

金井滿鐵衞生課長歸連

支那紙

時事新

報の論評

反日運動

本日本国に配って出費した

旅客員物共平常通

江庄場馬

生徒募集

場馬ルグド

開店披露

用御寄御 宴鍋料

會其理

に他と

電型四四六三番

兄小 院醫原相

> 八八四一番 らら

懸賞尋人

ス眞 治

+

喉鼻 醫院

吉

三四四番

「東京二十九日巻」 六大駅リーグ 生立第二回聴は二十九日午後零時 三十五分より後村(珠)三谷、森 三十五分より後村(珠)三谷、森 三十五分より後村(珠)三谷、森 にて除始、結局六アルファー新五

御料理 理かみが 利小り席

真正 榮養 0

(説明書送品) 松葉食(松の翠) 大連市播層町二二、播網町電停北入

(七)

秋祭りの

仕度

廿九日大連神社前で

、これが鮮頭を決勝すいよく。 「能線束を繋師にも低物」鈴木在郷軍人會々長の肌齢あり、 では悪いない。 では現下時いて岩井融六氏は在郷軍人の影響に がよるに置か、會員五 たる 製油の 操機をなし、 が終って 本 がなるに置か、 会員五 たる 製油の 操機をなし、 が終って 本 がなるに関う。

法政**二**属戰

ハ大學リ

父々辯を振つて

参加を一や、遊げ出さ

郷軍の意氣揚る

廿九日夜協和會館にて

大連郷軍の時局大會

南京形勢悪化しついあた場では一覧を発しまなきを得たが選挙しまなきを得た

大銭を校長さする中央軍官製校武大銭を校長さする中央軍官製校武工を表了の職様を割げざいき、 大銭を校長さする中央軍官製校武工を対して成門 したません はいき かいました はいき かいました はいき かいました はいき かいました はいき かいました はいき はいました はいき かいました はいき はいました はいき はいました はいき はいました はいき はいました はいまでは はいました はいました はいました はいました はいました はいました は

北人増田市左衛門が登勝草を日に 直に吉野三棚が一十九日午後四時十分ごろ市内勢 に燃え移り、

武漢も悪化

は満石に秩序の維持が完全

發賣所

赤露脫出露

太平洋橫斷機 淋代に空輸

號三

十三百千九第

え子を思って振へた女が似てもつりてを家人に引渡しておいて、直ぐマッケないマリアだったので、直ぐマッケないマリアだったので、直ぐマッケないマリアだったのだった。これを聞いた時間へから縁つて来た人というが世帯観へたえ子がお冬に連れらい。これを聞いた時間三はたえ子がお冬に連れらい。これを聞いた時間三はたえ子があった。これを聞いた時間三はたえ子があった。これを聞いた時間三はたえ子があった。これを聞いた時間三はたえ子があった。これを聞いていた。

大連市紀伊町五十五番地 合資 矢 野 元 品業祭 魚重揮強油油 テキサコルーフ サ車石ラ朝油油油 イング、ビッチ 加 機械 加 商店

丸見屋商店

防層屋原列

電話六五四四番 業 所

繋井試錐工事應需地下水の調査鑑定

For All Fine Laundering MANCHURIASOAPHFGCOTT

自動車講習所

目下公認請願中

大連日華自動

大 人一回十五乃至三十縮紀五 歲以下一回六 乃至十五滴妃

一回乃至三回(食後飲用)

大衆的理想の滋養强壯料なり連續飲用に適して、費用僅少

定價 百瓦入 一燥 盒一個二十錢

一方、日本語の して、
一方、日本語の して、
一方、日本語の して、
一方、日本語の して、
一方、日本語の は、
一方、日本語の は、
一方、日本語の は、
一方、日本語の は、
一方、日本語の は、
一方、一方、一方、一方、一方、一方、一方、一方、
一方、
一方、

究の結果遂に本品を破助せりの結果遂に本品を破助せりの

(0) 一〇二 (開幕部)

石絵本組(東京日本東京七一〇番・九見屋間店石絵本組(東京日本東京七一〇番・九見屋間店

に担留する

(65)

(N)

能して素足のまゝ、銀の頭に跳び すっに黒いブポンなつけ、髪を振って表足のまゝ、銀の頭に跳びあれたやうに鐵の頭を打ち叩 はがあれたやうに鐵の頭を打ち叩 なった黒いブポンなつけ、髪を振った。 された幸福を心の中で飛ぶしてる。然女は甘い、の兄の手から、悪ら 河野想多書湖

った打ち叩いた。想とい響きがガラス窓を順はせる。とかと、順は全 ス窓を順はせる。とかと、順は全 ス窓を順はせる。とかと、順は全 て開ける、開けないさ、

□では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎氏では、金子里太郎には、金子里太郎では、金子里太郎では、

大連大意

◆午前六時三十分各地相場ニユ ◆午前六時三十分各地相場ニユ ス ▲午後三時三十分各地相楊二五 連 JOAK H

私志や備

利食料品

部川

封度入年封度入が着しました

鑵

0

有名なる

ちちろう、たつこち出血が、痛等門家傳のみくすりひれ病気は苦にはせぬゆがの町山生儿

本を持つない。 を持合人強効保護等であります。 を持合人強効保護等であります。 を持つ手三十段を加強ののは、 を指する。 をは、のので、 のので、 のので

▲新日本民誌 (創刊號)民 第それは異國にあるものが母國 第それは異國にあるものが母國

洲

日

幸反

「あけみか」さあえぐやうに云った。「たえ子が逃げたぞ」
「それは如ってゐるわ」
・

け一下の壁にあたって、そこから垂直に下におちてもまつた。もかも、

班三は続り出

刊级午

英語獨習の好機 一次語獨學者本位の理想的設備を紹介す的設備を紹介すべからざる條件である。何人も一次的らざる條件である。何人も一次的方式。

專賣店 定

微 笑 堂 藥 茶 要 代 型 干 基 新 不 要 代 型 干 基

房店局

る信頼さ好評を傳せりる信頼さらず、胃腸障害絶無の信息なり、胃腸障害絶無

澤の

來庵

ま漬

12

滿鮮總發賣元

○○張場 ○○張場

四話一五九六番 工場

かず

滿日

臨時基

三 吉 吉 吉 去 去 志

彩·彩兒川·科内 子馬井魚 医中

醫井

領受實際名高最會覽博業工學化 闽三第

必ず一箇

170

家には

香味快く 口中を爽かにし

祝僧用中形チューブ入 一箇 金十 観響用大形(七十瓦)入 一箇 金二十録

層。

効 重

を有し、配盤の強防に対かあります。 を有し、配盤の強防に対かあります。

1.60

五町會數連大 愛へのバス協

新病消渴に此の名藥あり 新病消渴に此の名藥あり

ことが特別府林薬

牆洲代理店

地方するやな 以の藥

呈着汉山

十四二

御家庭奥様の御嬉び 毛織物、

絹織物專用化學的新發明

に時間貸練習もあります低 廉 且 つ 分 納

栽培地

より一直線に

茶

店川

は十分の

大人極大量でも

普通の肝油を違って、

用量

醫學諸大家實驗推獎 帝國發明協會優等日·英·米·佛專賣特許 化學工業博覧會優具團

日の量僅に茶匙に輕く一杯

F

ン紅茶の

努せず、

下痢を起さず、

最も

臭味少く、

胃腸を

婁 si 說·椒文

ステーシネ協會 の京橋區銀座八丁目二 の京橋區銀座八丁目二

堂度階地店區自用遊町遊浪

美給あまた

製創氏郎太體合河土博路樂

濃水のわった

厚那